慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	室町時代物語類現存本簡明目録
Sub Title	
Author	松本, 隆信(Matsumoto, Ryushin)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1962
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.1 (1962.) ,p.193- 259
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000001-0193

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

室町時代物語類現存本簡明目録

松本　隆信

例言

一、本目録はおよそ室町時代を中心として成立した物語類に関して、今までに調査し得た諸本、並びに既に本文の翻刻、或は解題のなされた諸本を整理し、特にその所在と、そのテキスト上の類別とを明らかにしたものである。本目録に掲出した作品の中には、その成立が鎌倉時代にまで遡り、或は江戸時代にまで降るかと考えられるものもあるが、内容が所謂御伽草子と呼ぶにふさわしいものについては、便宜上それらを含めることとした。

これらの物語類の伝本はその数が甚だ多く、なお遺漏が少くないと思われるので、今後も調査が進むに従い、新たに加うべきものは補遺篇に掲出してゆく予定である。大方の御教示を得れば幸いである。

一、諸本の配列に当っては、ほぼ同類の内容を有するものを最も通行の書名の下にまとめ、特に顕著な別名を有する本は、当該書の下に（「　　」）によってその題名を示した。その場合内題のあるものはそれにより、内題のないものは外題（題簽）によった。また、題名を欠くもので後人によって特別の仮題の附せられているものもそれを示した。書名に〔　〕を附したものは仮題である。

一、諸本のテキスト上の類別は、内容や筋の上に大きな相違のあるものはＡＢＣ、内容や筋立はほぼ同じで本文に著しい相違のあるものは㈠㈡㈢、本文も同系統で字句の上に小異のあるものは㈠㈡㈢の符号によって識別することを原則とした。但し作品によって異同の程度や性質にかなりの相違があるので、右の基準を厳密に守ることの出来なかった場合もある。

一、調査した諸本のうち、刊本によって作成したと推定される写本・奈良絵本の類は大部分省略した。

一、諸本の所蔵者は、写本の場合には上に記し、刊本の場合には下に（　）を附して記した。所蔵者が図書館、文庫等の場合は多く略記したが、そのうちやや明確を缺くかと思われるものを左に記しておく。

国会　　国立国会図書館（旧上野図書館）

東洋　東洋文庫（東洋大は東洋大学）
日比谷　東京都立日比谷図書館
赤木　横山重氏赤木文庫

東大研、京大研等と記したのは東大国文学研究室、京大国文学研究室の意味であり、単に東大、京大等としたのは各附属図書館の意味である。また、旧と附したのは旧蔵の意味である。

なお、個人の所蔵者については敬称を省略させて頂いた。

また、既刊の翻刻書、解題書等に著録された本で、所蔵者に移動のあったものは、できるだけ現蔵者に改めたが、現蔵者不明のものは旧蔵とし、また、現蔵か否か不明のものは一部そのままに記さざるを得なかったものもある。

一、諸本の成立年代に〔　〕を附したのは推定によるものである。そのうち〔江戸初〕としたのは、およそ慶長・元和・寛永の間を指し、それ以降に書写されたと推定される写本、奈良絵本等については、年代の表記を省略した。

一、写本の中で（奈良絵抜）と記したのは、奈良絵本の挿絵を抜いた、いわゆる絵抜本である。

一、写本の場合には冊数（巻子本は軸数）を記し、刊本の場合には巻分けのなされているものに限り巻数を記した。室町時代物語類にあっては、巻分けは便宜的なもので、同類の書であっても板によって巻数の異る場合があるが、内題・板心等によって上下或は上中下等に分けられている本は二巻、三巻として記した。

一、既に翻刻された本は、翻刻書の略号をそれの基いた底本の下に≪　≫を附して記し、底本の明示されていないものは同じく≪　≫に入れて上部に併出した。また、翻刻はないが、その本についての解題のあるものは〈○○解題〉として、翻刻書に準じて記した。

なお、大坂の書肆渋川清右衛門から刊行された二十三種のいわゆる御伽草子本には翻刻書が多いので、一々掲出することを省略した。御伽草子本二十三種全部を翻刻してあるものは

御伽草子（畠山健・今泉定助）
有朋堂文庫御伽草紙（藤井乙男）
校注日本文学大系19（尾上八郎）
日本古典文学大系御伽草子（市古貞次）

等である。また、御伽草子本は端本の所蔵者が多いために、所蔵者名も一切省略した。

一、翻刻書、解題書に用いた略号は左記の通りである。

新編　新編御伽草子（萩野由之）明34
室小　室町時代小説集（平出鏗二郎）明41
有朋　有朋堂文庫御伽草紙（藤井乙男）大4
大系　校注日本文学大系第十九巻（尾上八郎）大14
名著　名著文庫新撰御伽草子（関根正直）昭2
新纂　近古小説新纂初輯（島津久基）昭3

新釈　新釈日本文学叢書御伽草子集（内海弘蔵）昭5
短篇　室町時代短篇集（笹野堅）昭10
岩波　岩波文庫お伽草子（島津久基）昭11
続岩波　岩波文庫続お伽草子（市古貞次）昭31
室物　室町時代物語集（横山重等）㈠昭12㈡昭13㈢昭14㈣昭15㈤昭17
雄山　雄山閣文庫御伽草子㈠昭13㈡昭14
横室小　室町時代小説集（横山重）昭18
未刊　古典文庫未刊中世小説（市古貞次）㈠昭22㈡昭23㈢昭26㈣昭31
古典室物　古典文庫室町時代物語（横山重等）㈠昭29㈡昭30㈢昭32㈣昭35㈤昭36
未刊伽　未刊御伽草子集と研究（藤井隆）㈠昭31㈡昭32㈢昭35
岩波大系　日本古典文学大系御伽草子（市古貞次）昭33
類従　群書類従
続類従　続群書類従
児　続史籍集覧児物語部類　明27
東仏　国文東方仏教叢書文芸部上（鷲尾順敬）大15
㈡同第二輯文芸部（同）昭3
伝説　国民伝説類聚前輯（島津久基）昭8
稀書　稀書複製会（山田清作）
中小解題　未刊中世小説解題（市古貞次）昭17
近小解題　近古小説解題（平出鏗二郎）明42
慶応解題　慶応義塾図書館蔵和漢書善本解題　昭33
中世文学　中世文学会会報「中世文学」

一、既に翻刻や解題のなされている本については、紙面の都合で、説明はすべてをそれらに譲って省略した。未紹介の本については、必要に応じて内容や本文の性質等を簡単に注記した。特に刊本の場合には今後の調査の便を考えて、簡単な書誌を記した。

一、諸本の右肩に＊印の附してあるものは、所蔵者の御厚意によってマイクロフィルムによる副本を作成し、当斯道文庫に備えてあるものである。

一、本目録を作成するに当つて、貴重な原本の閲覧並びに撮影を御許可下された方々、図書館・文庫の各位に対し、また直接に或は御著書を通じて種々御教示を賜わつた諸家に対して、厚く感謝の辞を申上げる。特に横山重氏の御教示に負うところが多大である。

本目録は文部省科学研究費（機関研究）の御援助による「室町時代物語の諸本に関する研究」の成果の一部である。

〔ア〕

藍染川

(一)慶応・〔室町後期〕絵巻 残欠 一軸　〈慶応解題〉
(二)〔寛文〕刊絵入本 二巻　（国会・慶応）　〈近小解題〉

謡曲「藍染川」と同材。(一)は未だ御伽草子風になりきらず、会話等に謡曲の形態を僅かに残す。(二)は(一)と詞章全く異なり、天竺の説話や天神縁起を添え潤色が多い。

青葉の笛の物語

(一)内閣・百華庵宗固奥書写本　一冊　〈室小・横室小・東仏〉
国会・奈良絵本（外題「仁明天皇物語」）　上下合 一冊　〈室物一〉
国会・「扶桑残棄集巻三」所収写本　〈室物一解題〉
(二)寛文7年藤井五兵衛刊絵入本 二巻　（国会一丁欠　〈室物一〉
同右無刊記後印本　（天理）

明石物語

(一)天理・天文23年写本　（内題「あかしの三郎」）一冊　〈古典室物一〉
(二)天理*・〔江戸初〕写本　一冊〈中小解題・古典室物一解題〉
(三)(イ)〔正保*〕刊絵入本 二巻　（赤木・天理 上欠）　〈古典室物一解題〉
(ロ)慶応・写本　（光慶図書館蔵奈良絵本 焼 の摹本）　三冊　〈古典室物一解題〉

〔赤松五郎〕→業平夢物語

秋月物語

(一)(イ)矢野利雄・写本　五冊　〈室物三〉
教育大*・写本　二冊
(ロ)東大研・奈良絵本 零本　（「京極大納言物語」）　一冊　〈室物三解題〉
(ハ)静嘉堂・写本　三帖　〈国語教室昭12の10・室物三解題〉
(二)天理*・写本　三冊
(ホ)内閣・「文鳳堂雑纂巻之百十六」所収写本　一冊の内　〈室小〉〈室物三解題〉
東洋大*・奈良絵本　十冊
(ヘ)静嘉堂・写本（奈良絵抜）零本　一冊　〈室物三解題〉
(ト)吉田幸一・〔江戸初〕写本　三冊
(二)〔承応明暦〕刊絵入本 三巻　（赤木・静嘉堂・国会・刈谷・慶応）　〈室物三〉
同右河南四郎右衛門後印本（静嘉堂）　〈室物三解題〉
同右寛文4年喜左衛門後印本　（赤木・島津久基旧）　〈室物三解題〉

秋夜長物語

(一)(イ)高乗　勲・永和3年写本　《高乗自家版・岩波大系》
(ロ)幸節静彦・〔室町中期〕絵巻　三軸　〈斯道文庫論集一解題〉
(二)(イ)大東急*・嘉吉2年奥書本の文禄5年写本　一冊　《斯道文庫論集一》
(ロ)東大・明応8年寛文14年奥書本の明治15年小田清雄写本　一冊　《校正補注国文全書》
(三)慶応・天文9年写本　一冊　《斯道文庫論集一》
(四)天理*・〔室町末〕写本　一冊　《ビブリア昭37の6》
(五)武田祐吉旧・奈良絵本　三冊　〈斯道文庫論集一解題〉
(六)〔慶長*元和〕刊片仮名古活字本　(天理・赤木)　《観音八の四、五・斯道文庫論集一》
(七)(イ)〔慶長元和〕刊平仮名11行古活字本　(慶応)　《斯道文庫論集一》
(ロ)〔慶長元和〕刊平仮名12行古活字本　(竜門)　〈古活字版の研究解題〉
(ハ)寛永19年安田十兵衛刊本　(慶応・内閣・天理・大東急・静嘉堂・京大・教育大・東洋・刈谷・東大)　《続史籍集覧・日本文学全書》
同右小川多左衛門覆刻本(日比谷・静嘉堂)　〈斯道文庫論集一解題〉
〔万*治寛文〕刊絵入本　(赤木)　〈斯道文庫論集一解題〉
《類従物語・大系・国文大観》
(ハ)正徳6年須原屋茂兵衛刊絵入本　(吉田幸一旧)

あきみち

国会・奈良絵本　上下合一冊　《室小・岩波大系・近古小説選・要註御伽草子名作選》

あこきのさうし

神*宮・明徳2年奥書本の転写本　《室小・横室小》

朝顔の露

(イ)赤木*・〔室町後期〕絵入写本　一帖
巻末に「此一巻者宗祗法師之／真筆無疑也一覧次記之己十／正保二年二月日八十才玄陳」とある。本文は(ロ)の刊本と比較するに、まま字句に小異のある程度である。
(ロ)〔寛永〕刊絵入本二巻　(赤木・国会下欠・天理上欠)　《室物三》
明暦4年山田市良兵衛刊絵入本二巻　(天理)　〈室物三解題〉
同右延宝8年万屋庄兵衛後印本(下巻二丁修)　(天理)　〈室物三解題〉
(ハ)万治2年松会刊絵入本二巻　(赤木旧)　〈室物三解題〉
同右寛文4年山本九左衛門覆刻本　(野村八良・東北大)

≪新纂・岩波・雄山二≫〈室物三解題〉

〔寛文〕松会刊絵入本三巻　（岩瀬）　〈室物三解題〉

(ニ)正徳5年近江屋九兵衛刊絵入本二巻　（東洋・大東急・竜門）

〈室物三解題〉

同右鶴屋喜右衛門刊本　（岩瀬）　〈室物三解題〉

(ホ)*刈谷・元文2年奥書写本　（題簽「草木のさうし」）一冊

〈室物三解題〉

国会・写本下欠　一冊

京大研・天保6年写本　一冊

(ホ)の三種の写本は何れも刊本の写しと思われる。刈谷本は(ハ)に近く、国会本は(ロ)に近い。

あしびき

逸翁美術館・〔室町初期〕絵巻　五軸

≪続日本絵巻物集成二・横室小≫

天理・写本　五冊　≪室小≫

あしやのさうし

天理*・写本　一冊の内（「きふねの御ほんち」「さいみやうし百首詠歌」と合綴）

津国芦屋の左衛門のふともは、一族に所領を奪われ、一家離散する。のふともは故郷で小歌舞などをして身過をし、妻は京に上つて時の帝の皇子の乳母に召出され出世する。七年の後、のふともの妻は住吉に詣でた折、芦屋の里で夫にめぐり逢い、都へ伴ない帰る。のふともは帝より本領を安堵された上、やがて皇子が位に即くに及び三位の中将にまで昇進し、栄華に栄えた。

「大和物語」「今昔物語」等に見える蘆刈伝説の系統を引く作品であるが、謡曲「蘆刈」と人名、趣向に共通した所が見られ、直接には謡曲に基いて、これを物語草子化したものであろう。

あせち大納言——→あまやどり

愛宕地蔵物語

(イ)慶応・〔室町末江戸初間〕写本　一冊

(ニ)の刊本系とは詞章の異同が多い。特に巻末において、四郎坊が地蔵菩薩と現ずること、本朝の愛宕山に跡を垂れることが記されておらず、未だ完全に愛宕地蔵の縁起譚の形を備えない、刊本以前の古躰を見せている。

(ニ)(イ)承応2年西田加兵衛尉刊絵入本三巻　（国会10頁補写・名古屋市立図書館）　≪室物四≫

同右無刊記本　（天理）　〈室物四解題〉

(ロ)寛文7年鱗形屋刊絵入本（内題「あたこのほんぢ」）

（彩浦丘園旧）　〈室物四解題〉

同右鱗形屋後印本　（高野辰之旧）　〈室物四解題〉

あつたのしむひ

慶応・〔室町末〕写本　一冊　《神道物語集》

穴太寺縁起絵巻

尾崎久弥旧・延宝4年絵巻　《尾崎久弥三つの絵巻》

あま物語

(一)*天理・奈良絵本　二冊　〈中小解題〉

(二)*清水　泰・奈良絵本 上欠 一冊

(三)*天理・延宝2年写本　一冊

あまやどり 一名今宵の少将物語

(一)(イ)静嘉堂・〔江戸初〕奈良絵本　三冊

(ロ)清水　泰*・〔江戸初〕奈良絵本　三冊

(ハ)京大*・写本（外題「中くほ物語」）一冊

(二)(イ)国会・寛永4年写本（「今宵の小将」）　一冊　《新編》

静嘉堂・天保4年写本（題簽「今宵野少将物語」）一冊

(ロ)京大研*・写本　（題簽「あせち大納言」）一冊

(ハ)岩瀬*・奈良絵本　三冊

(ニ)天理・写本　一冊

右の諸本の本文は何れも甚だしく離れてはいない。ただ(一)に属する諸本と、(二)に属する諸本とを比較すると、巻末に近い部分に一個所だけ大きな相違がある。

あまやどり→しぐれ

阿弥陀の本地

(一)赤木*・天文21年写本　一冊　《室物四》

赤木・同右奥書本の転写本　一冊　《室物四》

(二)武田祐吉旧・〔江戸初〕写本　一冊　《室物四》

(三)筑土鈴寛旧・〔江戸初〕写本　（題簽「みたのほんかい」）一冊　《室物四》

(四)京大*研・正保3年写本　一冊　〈室物四解題〉

(五)京大*研・写本（内題「天竺之物語」）一冊

(六)天理*・奈良絵本　二冊

(七)慶応・奈良絵本　三冊

(八)承応元年山本長兵衛刊絵入本 三巻　（杉浦丘園旧 上欠）　〈室物四解題〉

同右後印本　（赤木）　《室物四》

天稚彦物語 一名たなはた

(一)東京国立博物館・写巻子本 上巻　一軸　（新見家旧蔵住吉広通筆絵巻の本文模本）　《室物二》

ベルリン国立博物館・絵巻 下巻　一軸　《室物二》

田辺政胤・同右〔室町末〕模写絵巻 下巻　〈日本美術協会報告第42輯・室物二解題〉

国会・叢書料本所収写本　《室小・室物二・大系・新釈》

実践女子大・写本　一冊の内　〈中世文学二解題〉

(二)(イ)京大美学研・奈良絵本（題簽「たなはた」）　二帖　《室物二》

東洋大*・写本　三帖

(ロ)京大国文研・写本（奈良絵抜、題簽「たなはた」）　二冊　〈室物二解題〉

高野辰之旧・安永5年写本（内題「牽牛由来記」）　一冊　〈室物二解題〉

静嘉堂・絵入写本（題簽「七夕もの語」）　三冊

(ハ)佐佐木信綱・奈良絵本 下欠（題簽「七夕」）　一冊　〈室物二解題〉

杉本梁江・奈良絵本（「七夕」）三冊　〈　〃　〉

大阪府立図書館・奈良絵本（「七夕」）三冊〈　〃　〉

赤木旧・天保4年写本（「太那婆多」）一冊〈　〃　〉

(三)赤木・〔江戸初〕絵巻（題簽「七夕之本地」）　二軸　《神道物語集》

あめわかみこ　一名たなはた

(一)慶応・寛永7年写本（「たなはたのほんじ」）　一冊　〈慶応解題〉

明暦元年刊絵入本（内題「たなばた」）（天理）《室物二》

同右無刊記後印本　（日比谷）

〔寛文延宝〕松会刊絵入本二巻（内題「たなはた」）（東大・竜門）　〈室物二解題〉

(二)〔宝永正徳〕西村伝兵衛刊絵入本 二巻（内題「あめ若みこ忍び物語」）（大東急・東大・天理 下欠）　《室物二》

〔鱗形屋刊本〕の無刊記後印本　（岩瀬・京大研）　〈室物二解題〉

(三)(イ)国会*・天保6年奥書本の天保10年写本　一冊　〈　〃　〉

(ロ)書陵部・写本（題簽「七夕の草紙」）　一冊　〈　〃　〉

(四)赤木・寛永20年写本　一冊　《横室小》

(五)守屋孝蔵・奈良絵本　三帖　〈室物二解題〉

あやめのまへ

東洋大・写巻子本　一軸　《続岩波》

荒五郎発心記→三人法師

〔蟻通明神縁起〕

下店静市*・絵入写本

唐の帝より大きなほら貝の穴に五色の糸を通して返されよとの難題が来り、公卿達簽議する処に、頭中将が古えの孔子の故事に倣って蟻に糸を結びつけてこれを通すこ

とを得る。これにより中将は大臣に出世し、百才迄長寿を保った後神と顕れ、和泉国に蟻通明神と仰がれた。

鴉鷺合戦物語

(イ)〔寛永〕刊古活字本　（熊本大・成簣堂・赤木）

《古活字版の研究解題》

赤木文庫本には後表紙見返しに「寛永十八年辛巳七月吉旦／京寺町四条上町中島四良右衛門開板」とある。

*慶安二年荒木利兵衛刊古活字本四巻　（国会・静嘉堂）

*国会・安永5年写本　一冊

書陵部・写本　三冊

早大・写本　一冊

(ロ)尊経閣・文禄3年写本　一冊

慶安3年奥書写本　《我自刊我書・続帝国文庫》

静嘉堂・写本　一冊

実践女子大・写本　一冊

《続類従雑》

《日本文学全書》

《大系》

《滑稽文学全集》

〔イ〕

伊香物語

天理・写本　一冊　《有朋・近古小説選・大系・新釈》

無窮会・寛延4年写本　一冊

いしもち

*吉田幸一・奈良絵本　三冊

畠山重忠が幼児の時に故あつて勘当した一子しげやすが成人の後謀叛を起し、由比ケ浜で御所方の勢と戦つて討死するという物語。題名は重忠がしげやすの急を聞いて鎌倉へ向うに当り、母の尼公の許に暇乞に赴いた時、酒宴の興に泉水の大石を持ち上げた事に基いている。詞章には浄瑠璃風の所がある。

石山物語

*〔明暦〕刊絵入本二巻　（赤木）

聖武天皇が大仏建立のために諸国に黄金を求め給う処に良弁僧正が近江国瀬多の川辺の石上にて釣をする翁の教えにより、観音の霊夢をうけて奥州より黄金を得る。よつて大仏建立の後、その地に石山寺を建て観音を祀つた。

(一)箱根神社・〔鎌倉末〕絵巻 残巻　《室物三》
(二)〔寛文〕刊絵入本 三巻　(慶応 下欠)　《室物三》
(三)慶応・写本 (内題「箱根本地由来」)　一冊
〈慶応義塾創立百年記念論文集解題〉

和泉式部

(イ)〔寛永〕刊絵入横本　(池田金太郎旧)
御伽草子本 (右の覆刻)
(ロ)清水　泰・奈良絵本　一冊　《和泉式部全集》
(ハ)静嘉堂・写本 (内題「道明のさうし」)　一冊の内
(ハ)の本文は(イ)よりも(ロ)の方にやや近い。

磯崎

(一)(イ)寛文7年松会刊絵入本 二巻　(赤木)　《室物四》
(ロ)天理・奈良絵本　二冊
《昭和11年吉永孝雄謄写版》〈室物四解題〉
(二)(イ)慶応・〔江戸初〕奈良絵本　一冊　〈室物四解題〉
(ロ)高野辰之旧・奈良絵本　《国文学踏査・岩波》

一尼公 (つれなしの尼君)

赤木旧・写本　一冊　《続岩波》

厳島の縁起

(一)松田福一郎・貞和2年絵巻 残欠　一軸　《室物一》
(二)(イ)白峰寺・〔江戸初〕絵巻　三軸　《神道物語集》
(ロ)天理・元和8年写本　一冊　《室物一》
慶応・写本　一冊　〈神道物語集解題〉
(ハ)国会*・明暦3年写本　一冊
(二)反町茂雄旧・〔江戸初〕写本　一冊　〈室物一解題〉
(ホ)刈谷*・奈良絵本 上欠 (奥書「唐土物語」)　二冊　〈〃〉
(ヘ)多和・写本　一冊　〈神道物語集解題〉
(ト)《続類従神祇》
(三)明暦2年婦屋仁兵衛刊絵入本 三巻　(国会)　《室物一》

一寸法師

御伽草子本
赤木旧・文鳳堂雑纂所収写本　〈室物五解題〉

伊吹山絵詞 ⟶ 酒顚童子

岩竹

岩瀬・奈良絵本　二冊　《未刊四》

岩屋の草子 一名対の屋姫物語

(一)高野辰之旧・慶長13年写本　一冊　〈室物三解題〉
(二)天理*・〔江戸初〕奈良絵本　二冊

㈢(イ)〔寛永〕刊古活字絵入本 二巻　（慶応下欠）
上巻29丁10行約20字、挿絵5頁、字面高さ約21・3糎
内題柱刻なし
大東急・絵巻　三軸　≪室物三≫
堀田正敦写本　≪続類従物語≫
実践女子大・奈良絵本　三冊
(ロ)岩瀬・奈良絵本　（仮題「たいのや姫物語」）　二冊
〈室物三解題〉
(ハ)国会*・写本　一冊
〈室物三解題〉
㈣(イ)〔寛永*〕刊絵入本 二巻　（国会・京大・赤木・教育大・実践女子大）　≪室物三・続類従物語・有朋・大系≫
〔宝永正徳〕鱗形屋刊絵入本 二巻（題簽「たいの屋ひめ」）
（教育大）
(ロ)の鱗形屋刊本とは別板で、本文は〔寛永〕刊本系。
内閣・写本　一冊　〈室物三解題〉
慶応・写本　一冊　〈室物三解題・慶応解題〉
野村八良・奈良絵本　三冊
〈室町時代小説論解題・室物三解題〉
岩瀬*・写本　二冊
(ロ)〔宝永正徳〕鱗形屋刊絵入本　（岩瀬・野村八良）
〈室物三解題〉
(ハ)天理*・奈良絵本　三冊　〈室物三解題〉
㈤学習院大・〔室町末江戸初間〕写本　一冊

〔ウ〕

魚歌合

〔寛永〕刊古活字絵入本　（東洋・赤木）　≪稀書≫
内閣・同右写本　一冊の内（「けた物の歌合」と合綴）

魚太平記

〔寛文*〕刊絵入本　（神宮・京大研）
35丁8行、挿絵13頁、字面高さ約20・5糎。内題「魚太平記」目録附。
国会*・写本（内題「魚類合戦河海物語」）　一冊
外に、竜門文庫目録に延宝9年刊本が見えるが未調査。

うそひめ物かたり→ふくろふ

転寝草紙

(イ)細見　良・〔室町〕絵巻　一軸　≪国華786・787≫
(ロ)賀茂三手文庫・写本　一冊
神宮・写本　一冊
≪続類従物語≫

うばかは

観音瞻仰会・奈良絵本　《観音四の四》
守屋孝蔵・奈良絵本　一冊
*清水　泰・奈良絵本　一冊　《室物三》
実践女子大・奈良絵本　一冊

〔馬猪問答〕

*某氏・絵巻　一軸

都近い深山に棲む熊と猪が、峯に埋もれている黄金をめぐつて争いを起し、両方共眷属をあつめて合戦に及んだが、麓の牧に棲む馬の太夫の仲裁で和睦し黄金を配分する。他の獣達も馬の教えで市を立て、食物を熊猪に売つて黄金を得、これによつて一山の獣達は共に富貴に栄えたという物語。恐らく江戸時代の製作にかかる作品であろう。

梅津長者物語

A
(一)岩瀬・文政2年絵巻　二軸（土佐広澄筆絵巻の模写）　《室物五》
彰考館・明和元年山岡浚明奥書写本　一冊《室物五解題》
書陵部・模写絵巻上巻　一軸　《室物五解題》
国会・模写絵巻残巻　一軸　《室物五解題》
無窮会・天保5年絵入写本　二冊
(二)神宮・写本　一冊　《横室小》《室物五解題》

B
清水　泰・奈良絵本　一冊　《室物五》

浦風

三隅貞吉・〔江戸初〕奈良絵本　一帖　《室物四》

浦島太郎

(一)(イ)〔寛永〕刊絵入本（赤木旧挿絵欠）　《室物五解題》
御伽草子本
*天理・〔江戸初〕写本　一冊
赤木・絵巻　一軸　《室物五解題》
実践女子大・写本（奈良絵抜）　一冊
(ロ)秀氏祐祥旧・写本　一帖　《室物五》
東大・天保9年写「みくさ物語」所収本　一冊の内
(ハ)アルデマーニ旧・奈良絵本　一帖　《室物五解題》
(二)大東急・〔江戸初〕絵巻　一軸　《室物五解題》
(三)高安六郎旧・奈良絵本　一冊　《室物五》

爪姫物語

(イ)大友奎堂・〔江戸初〕絵巻　一軸
《未刊三・神道物語集・要註御伽草子名作選》
(ロ)某氏・絵巻断簡　《MUSEUM　昭36の8》

〔エ〕

恵心僧都物語

A (一)(イ)法隆寺・天文11年写本　一冊　《正木直彦刊》

(ロ)慶応・〔室町末〕写本　一冊

国会*・寛永11年奥書写本　一冊

二本共片仮名交り文で、殆んど同文

(ハ)岡田*　真・〔室町末〕写本　一冊

漢字を僅かに交えた片仮名文

(二)大谷大・写本　一冊

(二)寛文4年長谷川市郎兵衛刊絵入本三巻（慶応）

上17丁中14丁下19丁9行、挿絵12頁、内題「恵心僧都縁起」板心「ゑしんゑんき」刊記「寛文四年菊月吉祥日長谷川市郎兵衛開板」。内容、筋は(一)と同じ。

B 国会*・応永8年奥書本の模写絵巻　一軸

奥書「筆者／一段公勝卿消水谷／二段行俊卿世尊寺／三段雅縁卿飛鳥井／応永八年三月廿三日」内容はAと全く異なり、恵心僧都の一代記の形をなしていない。一段は僧都往生を願う心の起ること、二段は僧都が布施に得た財宝を母に送つて却つて諌められること、三段は書写の上人と問答して敗れ、更に発心することを記す。

恵比須大黒合戦　《室物五》

〔万治〕刊絵入本　（早大）

ゑんがく

岩瀬・奈良絵本　二冊　《未刊二》

えんの行者

中野*荘次・奈良絵巻　二軸

役行者小角の生いたちから始めて、生涯の間の種々の奇瑞を記した物語。

焔魔王物語

明暦*4年石黒庄太夫刊絵入本二巻　（赤木上欠）

同右上村次良右衛門*後印本（赤木）

上16丁下19丁11行、挿絵8頁、単辺(21・3×15・3糎)

内題「焔魔王物語」尾題板心「法性無明物語」。地蔵菩薩が六道の辻で亡者を皆極楽へ導いた事から、地獄極楽の間に確執が起り、仏菩薩と焔魔王と合戦に及ぶ。極楽側は大日如来の加勢を得て遂に地獄城を攻め落し、焔魔王はじめ地獄の十王は出家を遂げる。「無明法性合戦状」と類似した題材である。

〔オ〕

大江山絵詞——→酒顚童子

あふぎなかし

延宝7年松会刊絵入本 三巻　（国会）　《短篇》

大橋の中将

(一)笹野　堅旧・奈良絵本　二冊　《短篇》

(二)*中野荘次・写本下欠（奈良絵抜）　一冊

をぐら物語

寛*文元年刊絵入本 三巻　（赤木）　〈近小解題〉

をこぜ

(イ)東洋大・絵巻　一軸　《続岩波》

(ロ)湯川富三郎・屏風絵

《南方随筆・柳田国男「山の神とヲコゼ」》

(ハ)高安吸江・奈良絵本

(ニ)赤木・絵巻　（外題「山水相生物語」）　一軸

おたかの本地——→物くさ太郎

おちくぼものかたり　一名小落窪

(一)赤木旧・奈良絵本　三冊　《室物三》

麻*生太賀吉・奈良絵本　三冊

(二)(イ)万治2年刊絵入本 二巻　（国会・岩瀬・赤木）

《近世文芸叢書・室物三》

天*理・奈良絵本　二冊

(ロ)〔元禄〕鱗形屋刊絵入本　（大東急・東大 巻尾欠）

〈室物三解題〉

(ハ)《新編》

御茶物語

寛永7年刊古活字本　（東大研）　《未刊二》

音なし草紙

東京博物館・永禄13年写本　一冊　《新編・大系・新釈》

鬼一法眼——→判官みやこはなし

大原御幸の草子

(一)藤井　隆・〔江戸初〕奈良絵本　一冊　《未刊伽三》

(二)中*野荘次・絵巻　一軸の内

(一)とは本文全く異なり、浄瑠璃風である。「四十八くはん記」「世つき曽我」「三社たくせん」「本くはん記」

と共に収められている。

おもかげ物語

万治3年福森兵左衛門刊絵入本二巻（国会）《新纂・室物二》
同右万治3年後印本（天理）　〈室物二解題〉

およのあま

東大・奈良絵本　二冊　《短篇》

およふのあま（仮題「宝月童子」）

*天理　奈良絵本　二冊　〈天理善本写真集解題〉

中天竺摩訶陀国の満月長者は御台所花玉婦人との間に子のないことを悲しみ、観音に祈請して一子を授かり、宝月童子と名づける。長者は童子の病身をうれい、北天竺しんりう山にある不老不死の薬、ちんなきの木の菓を求めに赴いたが、長者の財宝を奪わんとする北天竺の大王のために、しやらばら草という薬草を食べさせられ、馬にされてしまう。宝月童子は成長の後、父の行方を尋ねて北天竺に至り、父を再び人間の姿に戻した上、大王を討ちとる。

書出しに「むかし中天ぢくまかだこくのみやこにおようのあまとて一人の長じやおはします」とあり、題簽の書名は、それからきているらしいが、そのあとは、長者の名はすべて「まんくわつ長者」となつている。東大図書館所蔵の奈良絵本「おようのあま」とは全く別種の作品である。

御曹子島渡り

㈠㈠大東急・〔江戸初〕絵巻　二軸　《室物五》
㈡赤木旧・絵巻　二軸　〈室物五解題〉
㈥山田平十郎・奈良絵本　三冊　〈室物五解題〉
㈢御伽草子本
㈡秋田県立図書館・絵巻　一軸　《室物五》

〔カ〕

戒言（かひこと）（子飼草子）

慶応・永禄元年写本　一冊　《神道物語集》

蛙の草紙

根津美術館・絵巻　一軸　《古典室物三》

河海物語→魚太平記

鏡破翁絵詞　一名鏡男絵巻

国会・絵巻　一軸（題簽「鏡男絵巻」）　《室物一》

東京博物館・文化6年石山万吉模写絵巻　〈室物一解題〉

柿本氏系図

《類従雑》
《新編》

隠れ里

明暦2年婦屋仁兵衛刊絵入本二巻　（日比谷上欠）
〈室物五解題〉
東大研・奈良絵本　二冊
《新纂・岩波・室物五・近古小説選・雄山二》
慶応・奈良絵巻残巻　一軸
〈室物五解題〉

かざしの姫君

㈠(イ)慶応・奈良絵本　一冊
(ロ)*国会・奈良絵本　一冊
㈡《新編・大系・新釈・雄山一》
㈡は㈠の二本と比較して、文章の上ではさしたる相違はないが、筋の上に一個所大きな違いがある。㈠では主人公かざしの姫は女子を生んだ後、自らは死んでしまうが、㈡では姫の死ぬことを記していない。その外、㈡は中間に一箇所やや大きな脱文がある。

花鳥風月

㈠(イ)高安六郎旧・文禄4年奈良絵本　一冊　《古典室物五》
天理・伝飛鳥井雅俊筆奈良絵本　一冊〈古典室物五解題〉
(ロ)岩瀬・奈良絵本　二冊　〈　〃　〉
(ハ)*国会・天正20年奥書本の天保12年写本　一冊
〈古典室物五解題〉
㈡(イ)慶応・〔室町末〕絵入写本（「扇合物かたり」）　一冊
《古典室物五》
(ロ)赤木旧・奈良絵本　一冊
〈古典室物五解題〉
*天理・写本　一冊　〈　〃　〉
(ハ)*天理・写本（奈良絵抜）　二冊　〈　〃　〉
(ニ)*清水泰・〔江戸初〕奈良絵本　一冊
(ホ)静嘉堂・写本　一冊
(ヘ)書陵部・写本　一冊
㈢(イ)〔慶*長元和〕刊古活字絵入本　（国会）　《古典室物五》
慶安3年刊絵入本　（京大）　《有朋》
*神宮・写本（題簽「花風物語」）一冊〈古典室物五解題〉
(ロ)〔宝永正徳〕鱗形屋刊絵入本（題簽「新板源氏ものかたり」）
（慶応）　〈古典室物五解題〉
(ハ)慶応・〔室町末〕写巻子本巻首欠一軸〈　〃　〉
(ニ)東洋・奈良絵本　一冊
㈣慶応・〔江戸初〕写本後半欠　一冊　〈古典室物五解題〉
川瀬一馬氏「古活字版の研究」にもう一種、〔慶長〕刊

古活字九行絵入本（高木文庫旧蔵）が挙げられているが未見。

かなわ

藤井　隆・奈良絵本　二冊　《未刊伽二》

神代小町

山岸徳平・文化8年屋代弘賢奥書写本　一冊（三河国野田村八幡宮蔵絵巻の転写本）　《未刊伽三》

前田善子・屋代弘賢自筆写本　〈未刊伽三解題〉

神代物語→彦火々出見尊絵詞

賀茂之本地

〔承応〕刊絵入本三巻　（国会・天理）　《室物一》

唐糸草子

㈠(イ)〔寛永〕刊古活字絵入本　（無窮会）

36丁11行、挿絵10頁、字面高さ約21糎。内題「からいとのさうし」柱刻なし。(ロ)との字句の異同はやや多い。

(ロ)〔寛永〕刊古活字絵入本　（内閣）

37丁10行、挿絵12頁、字面高さ約21・5糎。内題「からいとさうし」柱刻「からいと」

〔寛永〕刊絵入本　（赤木・大東急・東洋・静嘉堂・東大・教育大）

37丁10行、挿絵12頁、字面高さ約19・5糎。内題「からいとさうし」板心「からいと」

寛文5年松会刊絵入本二巻　（岩瀬）

上12丁半下10丁半、14行、挿絵8頁、単辺（22・1×16・2糎）内題尾題板心「からいと」刊記「寛文五乙巳年六月吉日　松会開板」

御伽草子本

㈡早大・奈良絵巻　一軸　《未刊伽一》

唐崎物語

穂久邇文庫・写本　一冊

雁の草子

京大・慶長7年絵巻　一軸　《京大複製》〈中小解題〉

くわんをん本地

慶応・奈良絵本　二冊

丹波国の長者四良太夫の子四郎は兄弟の讒言にあって家を追われ、都の徳人に身を売るが、清水観音を信仰した利益によって十一面観音が天降って妻となり、富貴の身となる。四郎は清水寺を建立し、自らは千手観音と現わ

れた。これとほぼ同じ筋を語る古浄瑠璃に慶安4年さうしや九兵衛刊、江戸七郎左衛門正本「清水の御本地」（「古浄瑠璃正本集第二」所収）がある。

勧学院物語 一名雀の草子

寛文*9年杉原太郎兵衛刊絵入本 二巻 （赤木）　〈古典室物三解題〉

同右後印本 （国会・神宮）　〈稀書〉

〔万治寛文〕*鱗形屋刊絵入本の後印本（題簽「すゞめのさうし」） （赤木）　〈古典室物三解題〉

衣更着物語

貞享*5年喜平刊絵入本 （国会・大東急・赤木・岩瀬）　〈古典室物五〉

同右元禄6年永田調兵衛後印本 （国会・京大）　〈古典室物五解題〉

木曾義高物語→清水物語

北野通夜物語

明暦3年刊本 （赤木）

寛文9年刊本 （赤木）

〔キ〕

ぎわう

(イ)〔元和寛永〕刊古活字絵入本 （岩瀬）　〈未刊伽三〉

(ロ)京大*・〔江戸初〕奈良絵本 二冊

祇園の御本地

(一)東北大・文明14年写巻子本（内題「午頭天王御縁起」）　〈室物一〉

(二)〈続類従神祇〉（「祇園午頭天王縁起」）

(三)〔承応〕刊絵入本 四巻 （天理・京大）　〈室物一〉

狐草子

(イ)大東急・絵巻 一軸　〈古典室物三〉

(ロ)国会・模写絵巻 一軸　〈新編〉

書陵部・模写絵巻 一軸　〈古典室物三解題〉

岩瀬・模写絵巻 一軸　〈〃〉

早大・嘉永2年模写絵巻 有欠 一軸　〈〃〉

貴船の本地

(一)慶応・〔室町後期〕写本 一冊

(二)高野辰之旧・〔室町末〕絵巻 二軸

〈国文学踏査第一輯〉〈室物二解題〉

(三)大東急・奈良絵本　三冊　　《室物二》
(四)(イ)御巫清男旧・写本（奈良絵抜）　二冊　　〈室物二解題〉
(ロ)秋田県立図書館・奈良絵本　一冊　　〈室物二解題〉
(五)(イ)久原別邸旧・奈良絵本 中欠　二冊　　〈室物二解題〉
(ロ)《新編》
(六)荏野文庫・〔江戸初〕写本　一冊　　《神道物語集》
(七)〔承応明暦〕刊絵入本 三巻（国会・天理・京大・慶応・東洋 中欠・刈谷 中欠）　　《室物二》
天理*・〔江戸初〕写本　一冊　　〈室物二解題〉

〔きまんたう物語〕

慶応・〔室町末江戸初間〕写本 有欠　一冊　　《室物四》

京極大納言物語——→秋月物語

京太郎物語

石崎直矢・明治22年中島鹿山写本　一冊　　《短篇》

魚鳥平家——→精進魚類物語

魚類青物合戦状——→精進魚類物語

きりぎりす物語

赤木・〔室町〕絵巻　一軸の内（「玉虫物語」と共）
実践女子大・明和元年写本　一冊の内（「玉虫ものかたり」と合冊）　　〈中世文学二解題〉

きりぎりすが栗を食べようとしていがの中にとじこめられ、出られなくなつて嘆いている所に、鼠が通りかかって水を運んだりして力をつける。こうろぎをはじめ虫共がこれを聞いて見舞に行き、歌を詠んで慰める。終りに鼠にいがを喰い破つて貰ってきりぎりすを助け出すという物語。

右の二本の外、細見良氏が同名の絵巻を所蔵されているが未見。

〔ク〕

くさ物語——→七草草紙

朽木桜

天理・写本（奈良絵抜）　一冊　　《室小・横室小》
天理・奈良絵本 上欠（題簽「くちきわり」）　一冊
御巫清男・写本　二冊　　〈横室小解題〉

愚痴中将

天理・「国籍類書第二三七冊」所収写本　一冊

中頃頭中将の御子で三位中将という、二十才に余るまで情の道も知らず、詩歌の道も知らぬ愚か者が、母の教えにまかせて乳母子の中太と共に色の道、歌の道をたずね遂には出家して往生を遂げたという物語。

熊野の本地 一名ごすいでん

㈠㈠蜷川第一・〔室町末〕奈良絵本　一冊　《室物一》
㈡国会*・「寺社書上49」所収写本　一冊の内
㈢天理・〔江戸初〕大形奈良絵本　二冊
㈡㈠大東急・奈良絵本　二冊　《室物一》
国会・奈良絵本　二冊
有馬丈二・絵巻　三軸　《横室小》
㈡高野辰之旧・写本　五冊　〈室物一解題〉
㈢杭全神社・〔室町末〕絵巻　一軸　《室物一》
京大研・〔江戸初〕写本　一冊　〈室物一解題〉
㈣㈠天理・元和8年奈良絵巻　三軸　《室物一》
高野辰之旧・絵巻 残欠　一軸　〈室物一解題〉
酒井宇吉旧・〔室町末〕絵巻　三軸　〈　〃　〉
㈡〔寛永〕刊絵入本 三巻　（天理・赤木・日本民芸館）
《室物一》
寛文8年刊絵入本 三巻（内題「御すいでん」）（国会）
〈室物一解題〉
㈢〔元禄宝永〕井筒屋三右衛門刊絵入本 二巻　（東洋・大東急）
同右西村屋与八後印本　（東大）　〈室物一解題〉
㈤㈠東大研・弘治2年奥書写本　一冊　〈　〃　〉
《岩波大系》〈　〃　〉
㈡天理*・横形奈良絵本　二冊
㈥㈠高安六郎旧・奈良絵本　二冊　〈室物一解題〉
酒井宇吉旧・奈良絵本　三帖　〈　〃　〉
岡田希雄旧・写本　一冊　〈　〃　〉
高野辰之旧・写本（奈良絵抜）　一帖　〈　〃　〉
慶応・奈良絵巻 残欠　一軸　〈　〃　〉
㈡高安六郎旧・奈良絵本　二冊　《神道物語集》
㈢高野辰之旧・絵巻 残欠　一軸　〈室物一解題〉

車僧 一名松姫物語

京大・〔江戸初〕奈良絵巻　一軸　《京大複製》

㈠東洋大・大永6年写本（「松姫物語」）一冊　《続岩波》
㈡京大研・写本　一冊　《京大複製》〈中小解題〉
御巫清男旧・写本　二冊
京大・同右昭和15年小川寿一写本　二冊

〔ケ〕

獣歌合

〔寛永〕刊古活字絵入本　（東洋・赤木）　《稀書》
内閣・同右写本　一冊の内　（「うをのうた合」と合綴）

獣太平記——→十二類歌合

賢学草子——→道成寺縁起

還城楽物語

寛文13年奥書写本　《珍書同好会》

幻夢物語

㈠輪王寺図書館・貞享5年元禄4年奥書本の宝暦3年写本一冊
《続類従物語・東仏》
㈡東京芸大・明応6年奥書絵巻　二軸
田中光顕旧・絵巻　二軸
内閣・寛文8年写本　一冊
寛文4年松長伊右衛門刊本の安永7年太田南畝写本　《児》
以上〈国語と国文学昭27の8解題〉

〔コ〕

小敦盛

㈠赤木・〔室町末〕絵巻　一軸
*天理・伝青蓮院尊朝親王筆絵巻　一軸
慶応・〔室町末〕絵巻　一軸　〈慶応解題〉
右の三本は同系の絵巻で、詞書、絵共に同じである。㈡よりも叙述がくわしく、特に㈡が敦盛の死後から話が始まるのに対して、こちらは一の谷合戦から筆を起している。
㈡(イ)*御伽草子本
(ロ)国会・奈良絵本 上欠　一冊

恋の舟橋

〔寛文〕刊絵入本 二巻　（京大研 上欠）

恋塚物語

〔明暦〕刊絵入本 二巻（天理・赤木）　〈近小解題〉

甲賀三郎——→諏訪の本地

庚申の本地

㈠慶応・天文9年写本　一帖　《神道物語集》

書陵部・写本　一冊　〈図書寮典籍解題・中世小説の研究〉

こほろぎ草子

(イ)《新編・大系・新釈》
(ロ)実践女子大・写本　一冊　〈中世文学二解題〉

小落窪→おちくぼものがたり

小男の草子

A (一)(イ)高安六郎旧・〔室町末江戸初間〕奈良絵本　一冊　《稀書・室物五》
(ロ)高安六郎旧・奈良絵本　一冊　〈室物五解題〉
(ハ)岡村槐軒・奈良絵本　一冊　〈室物五解題〉
(二)(イ)守屋孝蔵・奈良絵本　一冊　《室物五》
岩瀬・奈良絵本　一冊の内（「なゝくさ草紙」と合綴）　〈室物五解題〉
(ロ)天理・奈良絵本　一冊
(三)(イ)赤木・〔室町末〕奈良絵巻　一軸　《文学昭和14年7月》〈室物五解題〉
(ロ)清水　泰・絵巻　一軸　《室物五》
(ハ)*天理・〔江戸初〕絵巻　一軸　〈天理善本写真集解題〉
B (一)*天理・慶長12年絵巻　一軸
奥書「ひろしまにてかきうつす也／慶長十二年ひのとひ

(二)*天理・慶長12年写本　一冊　《神道物語集》
(三)赤木旧・寛文11年写巻子本　一軸　《神道物語集》
(四)〔*承応〕刊絵入本 二巻　（赤木）
四本共内容は大よそ同じであるが、本文は夫々異なっている。(四)の刊本は最も平易に書き改めてあり、後半に庚申を信ぜぬ者の罰を蒙った話と、庚申の信仰によつて死者の蘇った話とをつけ加え、物語風に潤色されている。

上野君消息

尊経閣・暦応3年奥書写本　《東仏二》

上野国赤木山御本地

(一)国会・天保2年写本　二冊　《室物一》
(二)白井永二旧・写本　一冊　《国文学論究七・神道集》

強盗鬼神

〔寛永〕刊絵入本　（国会）　《短篇》

弘法大師御本地

承応3年高橋清兵衛刊絵入本 三巻　（赤木・東大・国会）　《室物四》

高野物語

つし二月五日」。㈡の早大本より文章がずつと簡略になつている。歌はほとんど同じである。

㈢早大・〔江戸初〕絵入写本（仮題「ひきう殿物語」）一冊　《室物五》

子飼草子——→戒言

小督物語

実践女子大・大正6年黒川真道写本 零本　一冊　〈中世文学二解題〉

小式部

A戸川浜男・〔室町〕写巻子本（内題「いつみしきふの物かたり」）一軸　《和泉式部全集》

B天理・写本　一冊　《新纂》

小式部（別本）

東洋大・奈良絵本　二冊　《続岩波・和泉式部全集》

五地五如来御本地——→もろかど物語

ごすいでん——→熊野の本地

胡蝶物語　一名花つくし

正保3年刊本　（東大研）

国会・写本　一冊　《列聖全集・明治聖徳記念会単行本》

天理・写本　一冊

天理*・写本　一冊　《有朋》

赤木・写本　一冊

小藤太物語——→雀の発心

琴腹

東山御文庫・御花園天皇宸翰絵巻　一軸　《宸翰集別冊》

尊経閣・宝永4年写巻子本　一軸

木幡きつね

㈠御伽草子本

㈡実践女子大・奈良絵本　二冊

小伏見物語——→桜の中将

小町歌あらそひ

万*治3年野田弥兵衛刊絵入本　（赤木・天理・竜門）

29丁10行、挿絵6頁、字面高さ約18・5糎

同右無刊記後印本　（天理）

*寛文6年松会刊絵入本二巻　（東大・天理）

上9丁下11丁13行、挿絵10頁、単辺（21・8×16・2糎）

謡曲の「草子洗小町」「鸚鵡小町」「卒都婆小町」に見える小町に関する説話三種を連ねた作品である。

小町のさうし

*〔元和〕刊古活字絵入本　（天理）

23丁10行、挿絵7頁、字面高さ約20糎。内題「小町のさうし」柱刻「小町」

〔寛永〕刊絵入横本　（早大巻首欠）

御伽草子本（右の覆刻）

前田善子氏が天文の古写本を所蔵されている由、同氏著「小野小町」に記されているが未見。

小町物かたり

*〔元禄宝永〕鱗形屋刊絵入本（国会・赤木・東大・天理）

《西行全集》

子易物語

A (一)赤木旧・奈良絵本　三帖　《室物四》

(二)赤木旧・文鳳堂雑纂所収写本　〈室物四解題〉

B *寛文元年林長右衛門刊絵入本二巻（内題「大江坂子易物語上」「清水子易物語下」）（赤木）

Bの刊本は、筋はAと大よそ類似しているが、登場人物が全く違つている。Bは「天武天皇の御代、丹波国大江坂の佐伯の長者という者が豊受明神に祈請して、背中合せにとじつけられた男女の子を授かる。時に天下に災があり、この魔物の故であるとの博士の占いにより、帝はこの子を斬るように命じるが、神仏が天降つてこれを助ける。その後子供の背中が離れ、二人共宮中に召出される。やがて二人は夫婦となり、女人平産の守りにと地蔵菩薩を造つた後、我等は誠の人間ではなく、衆生済度のためにこの世に化現したものであると告げて、天に昇つてしまう。その地蔵を大江の坂に御堂を建てて祀り、また長者夫婦は霊夢を受けて、愛宕郡音羽里に移り住み、遂に仙人となる。」という内容である。

今宵の小将物語——→あまやどり

〔サ〕

さいき

御伽草子本

西　行

筑土鈴寛旧・元和4年写本　《西行全集》

西行物語

A (一)静嘉堂・伝阿仏尼写本　一冊　〈日本書誌学之研究解題〉

(二)(イ)正保3年木村次郎兵衛刊本 三巻　（教育大・京大・赤木・彰考館）　《西行全集》

同右元禄5年浅見吉兵衛後印本　（静嘉堂・教育大・内閣・無窮会・慶応）　〈西行全集解題〉

同右無刊記後印本　（国会・東大）

《続帝国文庫・続高僧実伝》

寛文13年松会刊絵入本 三巻（内題「西行一代記」）　〈西行全集解題〉

（彰考館）

同右松会後印本（内題「西行」）　（天理・教育大）　〈西行全集解題〉

国会・写本　一冊

天理・〔江戸初〕写本　一冊

京大・奈良絵本　四冊

無窮会・写本　一冊

(ロ)宝永2年泉屋卯兵衛刊絵入本 三巻　（東洋）

同右宝永2年銭屋利兵衛刊本　（静嘉堂）

同右宝永2年河南四郎右衛門刊本　〈西行全集解題〉

(ハ)成賃堂・天正7年写本（「西行発心記」）　一冊

神宮・写本　一冊　〈日本書誌学之研究解題〉

川瀬一馬・慶安2年写本　一冊　《西行全集》

(三)川瀬一馬・延宝3年奥書本の山崎美成写本　一冊　〈日本書誌学之研究解題〉

〈　〃　〉

B (一)徳川黎明会、大原総一郎・伝土佐経隆筆絵巻の第一・二巻　二軸　《大和絵同好会複製・便利堂複製・日本絵巻物全集・西行全集》

国会・同右模写絵巻　一軸

(二)(イ)津軽家・明応9年海田采女筆絵巻の模写絵巻　五軸　《西行全集》

国会・絵巻　五軸

岩瀬・絵巻　五軸

岩瀬・天保12年模写絵巻 残欠　一軸

書陵部・絵巻

《続類従雑》

(ロ)元禄4年服部九兵衛刊絵入本 四巻　（内題「西行四季物語」）　（静嘉堂・日比谷）

同右宝永5年河南四郎右衛門後印本（京大・日比谷）

(ハ)天和2年酒田屋刊絵入本 三巻（「西行和歌修行」）　〈西行全集解題〉

C (一)(イ)川瀬一馬・〔江戸初〕写本　一冊

〈日本書誌学之研究解題〉

(ロ)書陵部・文明12年奥書写本　一冊

《続類従雑・東仏・西行全集》

日比谷・大永2年奥書本の文政5年写本　一冊

(ニ)彰考館・写本（「西行一生涯草紙」）　一冊

《史籍集覧・西行全集》

書陵部・写本（「西行一生涯草紙」）　一冊

〈西行全集解題〉

川瀬一馬・写本　一冊　〈日本書誌学之研究解題〉

D (一)神宮*・永正6年写本　一冊　〈　〃　〉

(ニ)京大研・寛永17年写本　一冊

国会*・同右奥書本の貞享元年写本　一冊

慶応・同右奥書写本　一冊

(一)と大筋は同じであり、本文の字句にも一致する所が多いが、(一)よりも叙述が遙かにくわしく、増補されている。

相模川

天理*・寛永6年写本　一冊

東大研・寛永16年写本　一冊　《幸若舞曲集》

「幸若舞曲集」に右の二本の外、渡辺霞亭旧蔵の奈良絵本が挙げられているが未見。

嵯峨物語

(一)内閣*・写本　一冊　《未刊四（序のみ）》

天理*・写本　一冊

(ニ)内閣・百華庵所蔵本の安永7年太田南畝写本　《児》

実践女子大・同右奥書写本　一冊

《続類従物語》

さくらゐ物語

絵入写本　十一冊　《巌松堂複製》

桜梅の草子

伝宗祇筆白描絵巻　一軸　《芸苑順礼社複製》

桜の中将　一名小伏見物語

(一)天理*・奈良絵本（題簽「小伏見殿物語」）　三冊

赤木*・奈良絵本（題簽「こふしみ」）　三冊

(ニ)の刊本に較べて叙述が非常にくわしい。

(ニ)国会*・（江戸初）写本　二冊　〈中小解題〉

本文は(一)に近い所が多いが、巻末の筋が異なる。即ち中将は住吉明神より霊薬を受けて姫君を蘇生させ、末永く繁昌することになっている。

(三)(イ)寛文10年本問屋刊絵入本 二巻（内閣・赤木）　《未刊三》

(ロ)寛文10年松会刊絵入本 二巻（天理*・竜門）

酒の泉

宮本長則・奈良絵巻　一軸

さごろも

(一)(イ)慶応・〔室町末〕写本　一冊
(ロ)国会*・奈良絵本　上下合一冊
(二)(イ)慶応・慶長2年写本　一帖　〈未刊二解題〉
(ロ)内閣*・写本　一冊
(ハ)村口四郎旧*・奈良絵本　二冊
(ニ)実践女子大・承応3年写本（尾題「飛鳥井大じやうさうし」）　一冊
(ホ)吉田幸一・奈良絵本　三冊
(三)(イ)〔寛永〕刊絵入本　（吉田幸一）
(ロ)明暦3年刊絵入本*　（東大・天理・赤木・書陵部）
31丁13行、挿絵12頁、単辺(19・2×16・2糎)内題「さごろも」板心「さ衣」刊記「明暦三年正月吉日開板」
寛文5年松会刊絵入本*　二巻　（天理）
上11丁下10丁15行、挿絵上5頁下4頁、単辺(22×16糎)
内題尾題「さごろも」板心「さごろも」刊記「寛文五乙巳年七月吉日　松会開板」
同右松会後印本（京大研）
京大・写本　一冊
吉田幸一・写本　一冊
中野荘次*・奈良絵本　三冊
(ロ)岩瀬・奈良絵本　上下合一冊　〈未刊二〉
(四)国会・写本　一帖
(五)吉田幸一・〔慶長〕写本　一冊
(六)〃　・寛永14年写本　一冊
(七)〃　・奈良絵本　三冊

本作品は(三)の刊本系統を除いては本文の流動が著しく、殆んど一本毎に大きな相違があって、その系統を類別することが困難である。ここでは便宜的に書き出しの部分の文章によって分類してみた。即ち(一)は「北野の天神の御時……」とし、(二)は「昔桓武天皇の御時……」とあり、(四)は単に「中比……」として特定の時代を記していない。（刊本系では「昔欽明天皇の御時……」とある）従って(イ)(ロ)(ハ)の小分類においても、その間の本文の相違は相当に大きい。

ささやき竹

A岩瀬・絵巻　一軸　〈未刊一〉
高野辰之旧・奈良絵本　一冊　〈未刊一解題〉
B(一)東洋大・写本　三冊　〈続岩波〉
(二)宝永2年*鱗形屋刊絵入本　（国会・大東急）
野村八良・奈良絵本　三冊　〈室町時代小説論解題〉
実践女子大・奈良絵本　三冊

実践女子大本は宝永二年刊本と殆んど同文であるが、巻末だけが異なる。
BはAよりも潤色多く、筋が遙かに複雑になつている。
Bの㈡の刊本は㈠と本文の大筋は一致するが、敍述が㈠よりも簡略である。野村八良氏蔵の奈良絵本は、「室町時代小説論」掲出の図版一葉によると刊本と殆んど同文であるが、未だ精査していない。

さざれいし

㈠〔寛永〕刊絵入横本　（日本民芸館）　《室物五》
御伽草子本（右の覆刻）
㈡国会・絵巻　（「鶴亀松竹物語」二巻の内の上巻）　《室物五》
東洋大・絵巻（「鶴亀草子」）　一軸

さよごろも付ゑんや物語

*寛文9年杉原太郎兵衛刊絵入本 二巻　（天理）
上11丁下11丁半14行、挿絵11頁、単辺（22・2×16・7糎）板心「ゑんや」
同右後印本　（神宮*有久）
年記のみを残し書肆名を削る。

さよひめ　一名竹生島の本地・壺坂

㈠赤木・〔室町末〕写本　一冊　《横室小》
㈡京大美学研・〔江戸初〕奈良絵本　三帖
《新纂・観音七の五六、八の一・室物四》
㈢(イ)筑土鈴寛旧・絵巻（題簽「壺坂物語」）一軸　《室物四》
(ロ)大和南法華寺・寛文2年再製絵巻（「坪坂縁起絵巻」）
《尾崎久弥三つの絵巻》
(ハ)*天理・奈良絵本　（題簽「つほさか」）　一冊
㈣古活字本（内題「ちくふしまのほんし」）　（小汀利得）
《横室小》

この外に、「近古小説解題」に平出延齢翁の見たという一本が紹介されており、また「近古小説新纂」初輯に渡辺霞亭旧蔵の奈良絵本が挙げられている。

猿源氏草紙

〔寛永〕刊絵入本　（赤木・東洋・岩瀬・国会・京大）　《室物五》
〔寛文〕松会刊絵入本 二巻　（天理）　〈室物五解題〉
*〔元禄〕西村屋刊絵入本 二巻　（天理・岩瀬*有久・東北大）
御伽草子本
天理・写本　一冊

山水相生物語——をこぜ

三人法師　一名三人憂悔草子

(一)(イ)〔寛永〕刊絵入本 二巻（赤木・東大）《岩波・岩波大系》
正保3年刊絵入本 二巻（赤木・東大）
明暦4年山田市良兵衛刊絵入本 二巻（赤木・国会）
万治2年刊本　（所在不明）　《国史叢書》
〔寛文〕山本九左衛門刊絵入本 二巻　（静嘉堂）
〔元*禄〕西村屋刊絵入本 二巻　（東洋・岩瀬・無窮会）
〔元禄〕鱗形屋刊絵入本 二巻　（京大研）　《有朋》
刊記不明本　（国会下欠）
東大・写本　一冊
国会・「鶯宿雑記四六五」所収写本　一冊の内
《続類従雑》
《東仏》
《大系》
(ロ)内閣・写本　一冊
(ハ)神*宮・写本　一冊
《史籍集覧》
(二)天*理・白描絵入写本　（外題「荒五郎発心記」）
(一)の系統の諸本の中では(二)の天理本の本文が最も刊本から離れている。
(二)市古貞次・天保2年鈴木怡写本　一冊　《未刊一》

〔シ〕

塩釜大明神御本地

東大研・写本　一冊　《未刊四》

しが物語

久原住吉別邸旧・奈良絵本（仮題「堀川中納言の姫君」）
一冊　《古典室物二》
某*氏・奈良絵本　二冊

しぐれ　一名あまやどり

A(イ)大東急・永正17年写本　一冊　《古典室物二》
(ロ)岡田　真旧・〔室町末〕写本　一冊　〈古典室物二解題〉
(ハ)多和・〔江戸初〕写本　一冊　〈古典室物二解題〉
B(一)東洋・奈良絵本　二冊
蓬*左・奈良絵本　五冊
(二)天*理・天正14年奥書本の寛永14年写本　一冊
(三)(イ)〔正*保慶安〕刊絵入本 三巻　（赤木・東大 上中欠）
同右〔万治〕改題後印本（内題「雨やとり」）（京大・赤木）
(ロ)寛*文11年鱗形屋刊絵入本 三巻　（大東急・国会 中欠）
天*和4年鱗形屋刊絵入本 三巻（大東急・東大・教育大）
同右無刊記後印本　（国会 中欠）

(ハ)享保6年藤屋小左衛門刊絵入本 五巻 (慶応・岩瀬)
同右改題無刊記後印本 (内題「姫物語」) (赤木旧)
(ニ)享*保13年近江屋九兵衛刊絵入本 二巻 (内題「あまやとり」) (東大・大東急)
同右鶴屋喜右衛門後印本
以上刊本〈古典室物二解題〉
(ホ)大東急・奈良絵巻 五軸
外に竜門文庫に元和3年写本一冊がある。同文庫目録に掲出の図版二葉によつて見ると、本文は刊本に近いようである。AとBの二系は内容、筋には殆んど相違はない。ただBの方は歌が著しく省略されている。

四十二の物あらそひ

(一)(イ)赤*木・〔室町末〕写本 一冊
(ロ)東*京博物館・〔室町末〕絵巻(「たけくらべ草紙」) 一軸
(ハ)慶応・〔室町末〕写巻子本 一軸 〈慶応解題〉
(ニ)赤*木・〔江戸初〕奈良絵本 一冊
(ホ)東洋・〔江戸初〕奈良絵本 一冊
(ヘ)清*水 泰・〔江戸初〕奈良絵本 一冊
(ト)静嘉堂・細川家蔵伝細川幽斉筆巻子本二巻の明治43年写本 一冊
(チ)静嘉堂・文化3年屋代弘賢奥書写本 一冊
(リ)静嘉堂・写本 一冊の内 (「初瀬物語」と合冊)
(ヌ)内閣・写本 一冊
(ル)刈*谷・「蓬廬雑鈔十三」所収写本 一冊の内
(ヲ)天理・文政元年写本 一冊
(ワ)岩*瀬・写本 一冊
(カ)蓬左・写本 一冊
(ヨ)慶応・写本 一冊の内(「初瀬物語」と合冊)
(タ)早大・奈良絵本(題簽「春秋優劣物語」) 一冊
早大・寛文3年奥書写本 一冊
(ソ)〈〈続類従雑〉〉
(ツ)〈〈東洋学会雑誌明23の4〉〉
(二)(イ)〔寛*永〕刊古活字絵入本 (東洋・大東急)
〈古活字版之研究解題〉
(ロ)〔寛*永〕刊同右覆刻本(竜門・天理・国会有欠)
〔寛*永〕刊古活字本(東洋) 〈古活字版之研究解題〉
東洋・写本 一冊
(一)の諸本は何れも大差はないが、歌の出入異同、順序の相違が一本毎にある。

地蔵堂草紙

桜井慶二郎・伝土佐光茂画三条西実隆詞書絵巻 一軸 〈未刊三〉

じぞり弁慶

岩瀬・奈良絵本 三帖 〈未刊伽二〉

しのばずが池物語

寛文8年かぎや七兵衛刊絵入本　（国会）
《未刊伽三》〈中小解題〉

しのびね物語

(イ)*蓬左・写本　二冊
蓬左・写本　二冊
静嘉堂・北村湖春写本　一冊
静嘉堂・写本 零本　一冊
国会・文政5年奥書本の嘉永3年写本　二冊
京大研・文政9年写本　一冊
*神宮・写本　一冊
無窮会・写本　一帖
教育大・写本　一冊
実践女子大・写本　二冊
《続類従物語》
(ロ)*国会・天明2年奥書本の寛政10年写本　一冊
静嘉堂・写本　一冊
《丹鶴叢書歌文部》

清水物語

(一)東大・元和3年写本　一冊　《幸若舞曲集》〈中小解題〉
(二)*国会・寛永14年写本　一冊
(三)〔寛永〕刊十行古活字本（高木旧）　〈古活字版之研究〉
〔寛永〕刊十二行古活字本　（安田旧）〈古活字版之研究〉
*国会・奈良絵本　三冊　〈中小解題〉
「古活字版之研究」に掲出の十行古活字本の巻頭図版一葉と比較すると全く同文。
(四)慶応・〔江戸初〕写本　一冊
(五)静嘉堂・写本　一冊　〈中小解題〉
(六)*蓬左・写本（奈良絵抜）巻尾欠　二冊　〈中小解題〉
(七)平出鏗二郎旧・慶長9年写本　一冊　（「木曽義高物語」）〈近小解題〉

釈迦の本地　一名釈迦出世本懐伝記・釈迦物語

A天理・天正9年写本　（内題「釈迦出世本懐伝記」）一冊　《室物四》
B彰考館・慶長16年写本（題簽「釈迦物語」）一冊《室物四》
C (一)*天理・〔室町末江戸初間〕写本　一冊　〈室物四解題〉
(二)(イ)慶応・〔永正〕写本　一冊　（仮題「雪山童子」）
《中世神仏説話》〈慶応解題〉
釈迦が迦毘羅国の浄飯王の王子として誕生する所で終る。
(ロ)〔寛永〕刊古活字本 三巻　（*大東急 中欠）〈室物四解題〉
〔寛永〕刊古活字本 三巻　（竜門・*国会 中下欠）
(ハ)寛永20年橘屋源兵衛刊本 三巻　（赤木・東大研・京大・早

大）　《室物四》

同右慶安元年後印本　（岩瀬）　〈室物四解題〉

同右〔明暦〕山田市郎兵衛刊乱板絵入本　（杉浦丘園旧 中欠・赤木 上下欠）　〈室物四解題〉

明暦2年刊絵入本 三巻　（赤木旧 上欠）〈　〃　〉

同右寛文2年吉野屋権兵衛後印本　（天理）

同右無刊記後印本　（東大・京大）〈　〃　〉

寛文10年本間屋刊絵入本 三巻　（静嘉堂）

同右本間屋後印本　（京大 上中欠）　〈室物四解題〉

(ニ)和泉屋庄次郎刊絵入本 三巻　（赤木旧）〈　〃　〉

同右桑村半蔵後印本　（国会）〈　〃　〉

(ホ)天理*・奈良絵本　三冊　〈　〃　〉

(ヘ)岩瀬・〔江戸初〕絵巻　三軸　〈　〃　〉

(ト)大谷大・〔江戸初〕　写本（内題「しやくそんしゆつせの物かたり」）　一帖

(チ)東洋・奈良絵本 巻尾欠　三冊　〈室物四解題〉

(リ)無窮会*・写本　一冊

天理図書館に古活字本の零本（中巻のみ）があるが、竜門文庫本を未見なので、前掲の二種の中のどちらに属するのか不明。

十二人ひめ

(イ)寛文10年本田屋刊絵入本 二巻　（国会・大東急）《未刊四》

(ロ)松会刊絵入本 二巻　（東大）

十二類歌合 一名獣太平記

(一)(イ)堂*本四郎・〔室町末〕絵巻 巻首欠　三軸

東京博物館・模写絵巻　三軸

国会・文化15年絵巻　一軸　（絵詞のみ）

(ロ)〔寛文〕喜右衛門刊絵入本 二巻　（内題「獣太平記」）　《稀書》

（東洋）

慶応・写本（奈良絵抜）　一帖

《類従雑》（前半の歌合の条のみ）

慶応・写本　一冊　（歌合の歌と判詞のみ）

早大・寛文4年奥書模写絵巻 残欠　一軸

(二)国会*・「幽香叢書六」所収天明3年賀茂季鷹奥書本の安政5年写絵入本　一冊の内

(一)よりも叙述が省略してある外、(一)と(二)は巻末の狸が出家する条の記述に大異がある。

十番の物あらそひ

《新編》

《続類従雑》

実践女子大・天保12年写本　一冊

秀祐之物語——→蛤の草紙

酒茶論

〔慶安明暦〕刊本　（成簀堂）　《未刊一》

十本扇

(イ)市古貞次・写本（「養老之縁起」と合綴）　《未刊一》

(ロ)静嘉堂・奈良絵本下欠　一冊　《未刊一》

酒顚童子（大江山系）

(一)逸翁美術館・〔南北朝〕絵巻有欠　二軸《続絵巻物集成一》

静嘉堂・写本　一冊

(二)東洋大・伝尊純法親王筆絵巻　二軸

(三)*大東急・絵巻　三軸

(四)慶応・絵巻　三軸

(五)*麻生太賀吉・写巻子本　六軸

(六)〔寛永〕刊絵入横本　（日本民芸館）

御伽草子本（右の覆刻）

酒顚童子（伊吹山系）

A(イ)大東急・土佐絵本　三冊　《古典室物四》

竜谷大・〔江戸初〕写本　一冊

《竜大国文学会出版叢書第四輯》

静嘉堂・写本　一冊

山岸徳平・右の影写本　一冊　〈古典室物四解題〉

天理・絵巻　五軸（天理目録題「大江山絵巻」）

(ロ)*天理・絵巻　三軸　《古典室物四》

(ハ)岩瀬・絵巻　五軸

東京博物館・絵巻　三軸

書陵部・絵巻　三軸

B(一)赤木旧・奈良絵巻　八軸　《古典室物四》

(二)東洋大・絵巻（「伊吹童子」）三軸

*麻生太賀吉・絵巻断簡　一軸　《続岩波》

酒飯論

*三時智恩寺・絵巻　一軸

*国会・絵巻　一軸

国会・絵巻　一軸

*神宮・写本（外題「酒食論」）　一冊

《類従飲食》

精進魚類物語　一名魚鳥平家

A*神宮・写本　一冊

静嘉堂・写本　一冊

国会・写本　一冊　《続帝国文庫》

慶応・安永4年伊勢貞丈写本　一冊

《類従雑・新編・名著・新釈・近古小説集・日本文学全書》

B静嘉堂・写本（内題「魚類青物合戦状」）　一冊

Bは本文真名文。登場する異類の名前等はAと大よそ類似しているが、筋は異なる。

しやうとく太子の本地

天理・〔江戸初〕写本　一冊　　《短篇・室物四》

浄瑠璃十二段草子

㈠赤木・〔室町〕絵巻十六段　三軸

㈡(イ)天理・〔室町末〕奈良絵本巻尾欠　二冊

大*東急・〔室町末〕奈良絵本巻尾欠　二冊

桜井慶二郎・〔江戸初〕絵巻　二軸

(ロ)神宮・写本前半欠（「拾弐段残芳」）　一冊

〈古浄瑠璃の新研究解題〉

㈢熱*海美術館・絵巻　十二軸

《近世初期国劇の研究・古浄瑠璃の新研究》

㈣(イ)〔慶長〕刊古活字絵入本　（東大）　《稀書》

〔慶長元和〕刊古活字絵入本　（小汀利得）

〔元*和寛永〕刊古活字絵入本　（天理）

正保3年杉田勘兵衛尉刊絵入本　（京大・国会二丁補写）

同右無刊記覆刻本

或は正保3年杉田板が本書を覆刻したのかもしれない。

挿絵などは杉田板の方がやや粗略である。

尊経閣・写本　一冊

神*宮・安永4年瀬名貞雄奥書本の天明4年硯寿写本　一冊

〈古浄瑠璃の新研究解題〉

教*育大・写本　一冊　〈〃〉

朽木侯旧蔵本の斎藤彦丸写本　〈〃〉

《続帝国文庫日本歌謡類聚》

教*育大・文化元年伊沢蘭軒写本　一冊

〈古浄瑠璃の新研究解題〉

学習院大・写本　一冊　〈〃〉

静嘉堂・享和3年写本　一冊

無窮会・写本　一冊

《新編・新釈》

(ロ)〔寛文〕刊絵入本　（大東急・赤木）

《近世初期国劇の研究》

同右覆刻本（天理・内閣中欠・教育大）

同右享保7年万屋清兵衛後印本　（彰考館）

〔寛*文〕本屋次兵衛刊絵入本　（神宮・天理・早大演博）

同右近江屋治助等後印本　（国会・赤木）

同右無刊記後印本　（国会・天理）

東大・文政13年写本　一冊　〈古浄瑠璃の新研究解題〉

㈤(イ)高野辰之旧・写本　《日本歌謡集成・古浄瑠璃の新研究》

(ロ)山岸徳平・写本　《古浄瑠璃の新研究》

(ハ)東大・天明8年奥書写本（「牛若源氏十二段」）

《歌舞音曲考説》

(六)(イ)〔寛永〕刊古活字絵入本　（前島春三 有欠）
《古浄瑠璃正本集一》
(ロ)寛文元年刊絵入本　（早大演博 有欠）
《近世初期国劇の研究・古浄瑠璃の新研究》
(ハ)〔寛文〕はんきや又右衛門刊絵入本　（早大演博 有欠）
《近世初期国劇の研究・古浄瑠璃の新研究》

白ぎくさうし——→一本菊

神功皇后御縁起——→八幡の本地

神道由来の事

慶応・〔室町末〕写本　一冊　《神道物語集》

〔ス〕

〔すゑひろ物語〕

赤木・絵巻　一軸　《室物五》

すずか——→田村の草紙

雀の草子——→勧学院物語

雀の発心　一名小藤太物語

A (一)日本民芸館・〔室町後期〕絵巻 巻首欠 一軸《古典室物三》
(二)高安六郎旧・〔室町末〕絵入写本 巻首欠（題簽「ことりものがたり」 一帖　《古典室物三解題》
(三)下*店静市・〔室町末〕絵巻巻首欠　一軸
小藤太道行、雀の森、踊念仏何れもなし。文章、歌はBの大東急文庫本にやや近い。
B (一)赤木・〔室町末〕絵巻 巻首欠 二軸　《古典室物三解題》
(二)岩*瀬・〔室町末〕絵巻 前半欠 一軸　《古典室物三解題》
(三)大東急・絵巻 有欠　一軸　《古典室物三》
C 慶応・〔室町末〕絵巻 巻首欠（「鳥歌合画巻」）一軸
《古典室物三解題・慶応解題》

すゞめの夕かほ

広島大研・奈良絵本　一冊　《古典室物三》
高安六郎旧・奈良絵本　一冊　《古典室物三解題》

硯破

(一)内閣・写本　一冊　《東仏・室小・横室小》
実践女子大・写本　一冊
(二)広島大・奈良絵本　《横室小解題》

すみそめさくら 一名草木太平記

承応2年*木曽屋次郎兵衛・藤屋次郎左衛門刊本 二巻（赤木・東大研・天理下欠）
寛文3年度々市兵衛刊同右覆刻絵入本 二巻（国会・赤木）
古藤七郎兵衛刊絵入本 二巻（内題「草木太平記」）（京大）
《有朋》

住吉縁起

慶応・写本（奈良絵抜） 三帖 《室物五》
東大研・奈良絵本 有欠 三帖 〈中小解題・室物五解題〉

諏訪の本地 一名甲賀三郎

A (一)茅野光英・天正13年写本 一冊《室物二・諏訪史料叢書》
(二)京大・寛永2年写本 一帖 《室物二》
(三)茅野光英・写本 一冊
(四)水谷不倒旧・文化8年奥書本の大正3年書写本 一冊
(五)中島仁之助旧・文化12年写本 一冊
(六)柳田国男・嘉永元年写本 一冊
(七)柳田国男・文久4年写本 一冊
(八)柳田国男・慶応3年写本 一冊
(九)柳田国男・慶応4年写本 一冊
(十)柳田国男・写本 一冊
(十一)諏訪教育部会・近写本 一冊
(十二)赤木旧・写本 一冊
(十三)赤木旧・写本 一冊

以上諸本〈室物二解題〉

B (一)赤木・〔江戸初〕絵入写本 一冊 《室物二》
(二)*吉田幸一・〔江戸初〕写本 一帖

〔セ〕

是害坊

A (一)(イ)曼殊院・延慶元年嘉暦4年文和3年奥書絵巻 二軸
《美術研究44》
(ロ)住友吉左衛門・〔室町〕絵巻 前半欠 一軸
〈国華130解題〉
東京博物館・同右明治18年晃川模写絵巻
〈国華675 676解題〉
東京博物館・同右模写絵巻
(二)(イ)川崎家旧・〔室町〕絵巻 巻首欠 一軸
梅津次郎・同右万延元年松本亀岳模写絵巻
〈国華675 676解題〉
(ロ)慶応・絵巻 前半欠 一軸
(ハ)京大・絵巻
(三)藤波家旧・正徳6年嘉永3年奥書絵巻の模写絵巻
〈国華675 676解題〉

慶応・寛文11年絵巻　一軸　〈室物四解題〉
*赤木・絵巻前半欠　一軸　〈〃〉
B京都報恩寺・絵巻　一軸　〈国華675 676解題〉

善教房絵詞

西脇済三郎・〔鎌倉〕白描絵巻　一軸　〈東仏〉
*東京博物館・模写絵巻　一軸

浅間御本地御由来記　一名源蔵人物語

㈠赤木・安永2年写本　一冊　〈室物二〉
㈡東大研・写本（内題「源蔵人物語」）一冊　〈室物二〉
㈢高野辰之旧・写本（外題「異本源蔵人物語」）　一冊　〈室物二〉

善光寺本地

A㈠慶応・応永9年写本　二冊　〈慶大国文学論叢第二輯〉
㈡〈大日本仏教全書寺誌叢書四〉所収絵入写本
B㈠㈠〔寛永〕刊古活字本三巻（中島仁之助旧上欠）　〈室物四解題〉
㈡慶応・寛文6年写本（笹野堅旧）一冊　〈〃〉
㈢国会*・寛文6年奥書写本　一冊　〈〃〉
㈡万治2年佐野七左衛門刊絵入本三巻（赤木）〈室物四〉
同右野田庄右衛門後印本（赤木）〈室物四解題〉
同右享保3年丸屋市兵衛後印本（静嘉堂・国会）
国会・絵入写本零本　一冊　〈〃〉
㈢市古貞次・写本　一冊　〈〃〉

千寿女の草子

㈠慶応・〔室町末〕写本　一冊
㈡慶応・〔江戸初〕写本　一帖

加賀国今津の長者、今津新左衛門いえつくは、清水観音に祈請して一女子を得、千手御前と名づける。千手は十二才の時母に死別し、以後継母のために苦しめられる。遂に十七才の時家をのがれ出て都へ上り、清水観音の引合せで伏見中将の妻に迎えられ、二人の男子を生む。然るに中将の母は、千手の素性賤しき事をいとい、中将の留守を窺つて千手を追い出す。千手は流浪の旅を重ねて敦賀に至り、物語接待の宿に泊る。中将もまた後を追つて敦賀に来り、同じ宿に泊る。その宿の主は、千手の父の変れる姿であり、ここに三者はめでたく再会を遂げるという物語である。

㈠と㈡は本文の大筋は同じであるが、㈠の方が素朴で、言葉の上にも地方的な訛りが見られるのに対して、㈡の方は文辞に修飾が多く、洗練されている。㈡には鳥丸光広筆の極め札が附してあり、その真偽は疑わしいが、筆跡は流麗である。

総持寺縁起絵巻　《大日本仏教全書》
慶応・〔江戸初〕写本　一冊
(ロ)天理・享禄4年写本　一冊《有朋・東仏》〈室物四解題〉
(ハ)*戸川浜男・〔室町末〕写本　一冊
(ニ)*某氏・〔室町末江戸初間〕写本　一冊

(二)赤木・〔江戸初〕絵入写本　一冊　《室物四》
(一)の(イ)は片仮名交り文、(ロ)は平仮名文、(ハ)は漢字を僅かに交えた片仮名文であるが、三種共本文はさして変らない。なお、右の諸本の外に、叡山無動寺谷に写本が、成田図書館に奈良絵本が有る由であるが、未だ調査していない。

大仏の縁起
(一)慶応・〔室町末〕写本（内題「ふつせつ大ふつの御えんき」）一冊
(二)慶応・天和元年写本（内題「奈良之東大寺大仏之縁起」）一冊
聖武天皇の后が二十一才にしてみまかり、地獄に落ちて苛責を受けたが、天皇が后の菩提を弔うために奈良の大仏を建立し供養した功徳によつて再び地獄より返され、その後天皇と共に長寿を保つて往生を遂げたという物語で、通行の「大仏供養物語」とは全く内容の異なる別種本である。
(一)が平仮名文であるのに対して、(二)は漢字を主とした

総持寺縁起絵巻
《尾崎久弥三つの絵巻》

草木太平記→すみそめさくら

〔タ〕

大黒舞
蓬左・〔江戸初〕奈良絵本有欠　二帖　《室物五》
*天理・〔江戸初〕奈良絵本　二帖
「近古小説解題」に挙げられている「大悦物語」は本書と同じ内容であるが、その梗概によつて見ると、巻末の筋がやや異なつているようである。

太子開城記
高野辰之旧・写本（奈良絵抜）　二冊　《室物四》

大納言物語→はにふの物語

対の屋姫物語→岩屋の草子

大仏供養物語
(一)(イ)神宮・〔室町末〕写本　一冊　《室物四》

片仮名交り文で、㈡の方が総じて叙述が簡略になつている。なお、㈡には巻末に約五丁に亘つて、「東大寺造立勧進僧正之事」と題して、良弁僧正の生い立ちに関する有名な鷲にさらわれた話を附載している。

高藤公絵詞

東京博物館・永正3年中御門宣秀奥書写本　一冊

《中世神仏説話続》

神宮*・同右奥書本の正保3年写本　一冊

たからくらへ

慶応・奈良絵本　二冊

昔筑前国に、うらづの左衛門さたよしという財宝には飽き満ちているが子供のない長者と、十三人の子宝に恵まれたおほかの次郎大夫という貧者とが或時国司に召されて宝競べをする。国司は子に勝る宝はない、次郎大夫こそまことの長者であると判じて盃を賜わつた。そこで左衛門は養子を迎えるが一年で病没し、次の養子も狩に出て不具となつてしまう。左衛門夫婦は子を諦め、後生を願つて堂塔を建立し貧者に施しをするうちに、夢の告によつて六才ばかりの若君を授かる。若君成長の後、左衛門は家督を譲つて一向に菩提の道に赴く。一方次郎太夫夫婦は都で出世した子に招かれ、三条大臣殿から家屋敷を賜わつて安楽な老後の生活を楽しんだという物語。

たけくらべ草紙——→四十二の物あらそひ

立鳥帽子

《新編》

多田満中

藤井　隆・写本　一冊

《未刊伽三》

たなはた——→天稚彦物語

たなはた——→あめわかみこ

玉井の物語——→彦火々出見尊絵詞

玉たすき

慶応・奈良絵本　二冊

九篇の説話を奈良絵本に仕立てたもの。㈠頼政が和歌の徳によつて帝よりあやめの前を賜わる事　㈡小野小町が知れる人の許に琴を借るとて歌を贈る事、及び無常の理を示さんがために庵を結ぶ事　㈢中川刑部の娘を三人の男が争う事　㈣相模内侍太秦に詣でる途にて薬師の化身

に逢う事　(五)和泉式部が賀茂の神主忠頼と連歌をする事　(六)則天武后の事、付延喜帝のこと　(七)西施国を傾ける事並びに范蠡の忠節の事　(八)桂中納言隠し妻の入水に逢い出家する事　(九)高川中将の娘婚期を逸し四十三にて出家する事。

玉藻物語

*大東急・写本　十四冊
陽明文庫・写本　十五冊
京大・写本　〈立命館文学昭19の5・6解題〉
彰考館・写本
彰考館・写本

玉水物語　一名紅葉合

(一)京大・写本　一冊　《有朋》
京大研・白描絵入写本　一冊
*東北大・写本（奈良絵抜）　二冊
(二)*京大・写本（題簽「紅葉合」）　一冊
*天理・写本（題簽「もみちあはせ」）　一冊

玉虫の草子

(一)赤木・〔室町末〕絵巻　一軸の内
実践女子大・明和元年写本　一冊の内　〈中世文学二〉
(二)天正10年奥書写本
(三)〔*寛永〕刊絵入本（赤木有欠）
(四)赤木・絵巻　一軸

玉藻の草紙

(一)根津美術館・〔室町末〕絵巻　二軸　〈室物四解題〉
(二)(イ)矢野利雄・慶長11年絵巻　三軸　〈室物四解題〉
(ロ)彰考館・写巻子本残欠　二軸　〈室物四解題〉
(三)(イ)高安六郎旧・奈良絵本　三帖　〈室物四解題〉
(ロ)国*会・奈良絵本　一冊　〈室物四解題〉
(ハ)京大研・写本　一冊　〈室物四解題〉
(四)*京大・絵巻　二軸
東洋・奈良絵本　二冊
(五)内閣・写本　一冊　《東仏二》
山岸徳平・写本　一冊　〈室物四解題〉
光慶旧・写本　一冊　〈室物四解題〉
(六)承応2年西田庄兵衛刊絵入本二巻　（天理・彰考館・東洋）　《室物四》
同右菊屋七郎兵衛後印本　（国会）　〈室物四解題〉
国会・写本　上下合一冊

田村の草紙　一名すすか

(一)慶応・〔室町末〕写本（題簽「すゝかのさうし」）一冊

《新編・大系・新釈》

(二)慶応・万治3年写本　二冊　《神道物語集》

(三)天理*・写本（奈良絵抜、題簽「すゝかの物かたり」）　一帖

(四)大東急・奈良絵本（題簽「すゝか」）　五冊　《室物一》

(五)桜井慶二郎・寛永4年奥書写本　一冊

(六)〔寛永*〕刊古活字本二巻　（天理）　〈室物一解題〉

正保3年杉田勘兵衛尉刊絵入本二巻　（天理）

同右無刊記後印本　（天理）　《室小・室物一》

〔寛文〕刊絵入本二巻　（神宮）　〈室物一解題〉

書陵部・絵入写本（正保三年板の写し）　一冊

為盛発心物語

(イ)竜大・〔室町末〕写本　一冊

慶応・天正11年写本　一冊

(ロ)が漢文体であるのに対して、(イ)は片仮名を多く用いた書き下し文で、文辞にもやや相違がある。

(ロ)神宮*・写本　一冊

《続類従釈家》

〔為世の草子〕

宮本長則・奈良絵巻　二軸　《未刊三》

俵藤太物語

A (一)徳川達孝・〔南北朝〕絵巻　〈絵巻解題〉

(二)金*戒光明寺*・〔室町末〕絵巻　三軸

Bの刊本系と較べると、百足退治を依頼するのが老翁となつている外、竜宮城でもてなしを受ける条、将門を追討する条何れも叙述が簡素である。将門に六人の影のある話なども無い。終りに将門追討の大将軍忠文が賞にあずからなかつた事を怨み、死して怨霊となつた事がつけ加えられている。

B (イ)〔寛*永*〕刊絵入本二巻　（赤木・国会）

上34丁下32丁10行、挿絵上8頁下10頁、字面高さ約18糎

内題なし、板心「とうた。」

寛*文9年刊絵入本二巻　（神宮）

上13丁下12丁16行、挿画上5頁下5頁、単辺（22×16・6糎）内題「たはら藤太秀郷」板心「たはら藤太」刊記「寛文九己酉年三月吉日」

学習院大・奈良絵巻　三軸

(ロ)〔寛*永*〕刊絵入本の覆刻修印本　（赤木・東大・東洋・天理）　《有朋》

(イ)の〔寛永〕刊本の上巻第9丁より第12丁までの四丁のみ全く別に板を起し、三丁に縮める。その部分は挿絵を一面省略した外、文章も所々節略している。

(ハ)大*東急・絵巻下欠　二軸

たんさくのゑん

*天理・写本　一冊

常陸国の林左衛門氏頼の姫君を、下野国花輪庄次家定が見染めて、ひそかに契りを結ぶ。ここに国司が姫の噂を聞き、氏頼に姫を貰い受けたいと申入れる。姫はこれを聞いて悲しみ、家を出て善光寺へ赴く。国司は氏頼の不信を責め、これを討とうとする所に、かつて氏頼に命を助けられた狐が姫に化けて国司をたぶらかし、これを滅す。花輪の庄次は姫の跡を尋ねて信濃へ赴き、人寄せのために善光寺で大念仏を催す。そこへ姫が参詣に来り、二人は目出度再会を逐げる。書名は姫の書いた短冊が、二人を結ぶ媒となったことから来ている。

〔チ〕

竹生島の本地——→さよひめ

ちごいま

岩瀬・奈良絵本　三冊　《未刊一》

中将姫本地

㈠慶安4年刊絵入本の後印本（東大・国会・赤木）《室物四》
寛文5年松会刊絵入本二巻（東大）〈室物四解題〉
㈠㈠広島大・奈良絵本　二冊　《室物四》
国会・写折本　二帖
実践女子大・奈良絵本　三冊
国会本と実践女子大本は巻頭の数行のみが広島大本とやや異なり、あとは殆んど同文である。
㈠㈡佐賀県多久市立図書館・奈良絵本　二冊
〈佐賀大学文学論集2解題〉
㈡内田元夫旧・写本　一冊　〈室物四解題〉
㈢吉田幸一・写本　一冊

中書王物語

国会・文明15年奥書本の〔江戸初〕写本　一冊
《室小・横室小》

鳥獣戯歌合物語

東大・写本　一冊　〈中小解題〉

長生帝物かたり

㈠藤井　隆・絵巻　一軸　《未刊伽三》
㈡元禄8年跋刊本（京大研・吉田幸一）　〈未刊伽三解題〉

調度歌合

公頼奥書写本　《類従雑》

他に彰考館に写本がある由であるが、未調査。

〔ツ〕

月　か　げ

《厳橿昭12の9～13の4》

月日の本地　一名つきみつのさうし

㈠㈠〔寛永〕刊古活字絵入本（内題「つきみつのさうし」）
（東大研）
墨海山筆所収天保12年写本　一冊　《東仏二》
㈡〔正保〕刊絵入本　（天理・京大・赤木）　《室物三》
寛文7年松会刊絵入本二巻　（赤木旧）　《室物三》
㈡㈠赤木旧・写巻子本　一軸　《室物三解題》
㈡東洋・奈良絵本　二冊　《室物三解題》

付　喪　神

寛文6年頼業奥書写本　《室小・東仏一・大系・新釈》
彰考館・同右奥書模写絵巻　一軸　《横室小》
岩瀬・同右奥書模写絵巻　二軸
*国会・模写絵巻　一軸
東京博物館・模写絵巻　二軸

平出鏗二郎氏の「室町時代小説集解題」に「本書原本は美濃国の崇福寺に所蔵せらるるにや」として、柏木貨一郎の大倭画名巻競に「小槻宿称筆、㈢濃州崇福寺蔵付喪神記」とある旨が記されている。

土　蜘　蛛

A東京博物館・〔南北朝〕絵巻　一軸　《日本絵巻物集成二・伝説》
B慶応・絵巻　二軸

Aとは内容異なる。頼光が伊勢大神より霊剣を授かる事、養由の娘から武芸の秘術を、八幡大菩薩より兵法の一巻を受ける事、郎等に四天王を得る事、頼光を悩ます葛城山の土蜘蛛を四天王が退治する事等を記したもので、「劔の巻」や謡曲「土蜘蛛」と共通した内容である。

なお外に、赤木文庫に古活字本の断簡二葉があるが、内容はBに属するものの如くである。

壺　坂→さよひめ

壺　の　碑

天理*・絵巻　二軸　〈天理善本写真集解題〉

奈良の帝の御代、陸奥国壺の里に一の大石があり、その精が若物と化して夜な夜な里の美女の許に通い、深く契りを交わす。時の国司はその石を国境に移そうとして国人を集める。石引の前夜例の若者は女に汝が引けばたやすく動くと告げて姿を消した。女の引く綱にさしもの大石も軽々と動き、女は国司の寵を受けて富み栄えたという物語。

鶴亀物語

A大東急・奈良絵本（「笠間長者鶴亀物語」の上巻）　〈室物五〉

B高安六郎旧・奈良絵本（「鶴亀松竹」の上中二巻）　〈室物五〉

C㈠高安六郎旧・奈良絵本　一帖　〈室物五〉

㈡大東急・奈良絵本　一帖　〈室物五〉

右のA・B・Cの㈠の三本は、何れも「松竹物語」と対になつているが、三本共内容は全く異なつている。

鶴の翁

写本　三冊　〈続岩波〉

慶応・写本　三帖

鶴の草子

A㈠寛文2年婦屋仁兵衛刊絵入本三巻（京大・天理・書陵部・竜門）　〈有朋・大系・新釈〉

天理・奈良絵本　三冊

清水*泰・奈良絵本　三冊

実践女子大・奈良絵本　三冊

㈡中野*荘次・奈良絵本　三冊

㈢〔天和*元禄〕鱗形屋刊絵入本（国会・大東急）

寛文2年板の本文を所々節略する。

B市古貞次・奈良絵本　一冊　〈未刊二・御伽草子名作選〉

広島大学附属図書館に奈良絵本が存する由であるが未見。

〔テ〕

てこぐま物語

東京博物館・永禄9年奥書本の模写絵巻　一軸　〈近小解題〉

天狗の内裏

㈠㈠慶応・〔室町末〕写本　一冊

古説経風の調子のある異色のある本文を有している。㈡

の守屋本等よりも叙述のくわしい所がある。

(ロ)守屋孝蔵・奈良絵本　二冊　《室物二》

清水　泰・写本有欠（奈良絵抜）　一冊　〈室物二解題〉

(二)(イ)〔正保〕刊絵入本二巻　（赤木・名古屋市立図書館下欠）　《横室小》

*天理・〔江戸初〕写本　一冊　〈室物二解題〉

明暦4年山田市郎兵衛刊絵入本二巻　（刈谷）　《室物二》

同右無刊記後印本　（岩瀬）

東大・奈良絵本　三帖　〈室物二解題〉

(ロ)万治2年松会刊絵入本二巻　（国会）

《新纂・岩波》〈室物二解題〉

天竺之物語——→阿弥陀の本地

〔天照大神本地〕

慶応・元禄8年写本　一冊

昔西天竺はらない国のけむたつは王は十一面観音に祈請して一子めうをん太子を儲ける。その後太子の母が亡くなり継母を迎える。継母は太子に恋慕するが拒絶されたため、太子のことを大王に色々と讒奏するが用いられない。大王は太子に位を譲ろうとするが太子はこのように女人の心悪しき国を離れんことを乞うので、大王太子共々日本に渡り、大王は内宮、太子は外宮、太子の生母は近江のたか大明神と顕れた。以上の物語が前半で、後半はそれに続けて、伊勢神宮に関する中世的な伝承、俗信の由来等を説いている。本文中に「かくのことくふつほうをもくにほとにひろめ給ふ人にほんはしまりて大ゑい二ねんまて六十三万七千八百五十二年なり」とあるによつて、その成立時期がほぼ推察されよう。

天神の本地

A (一)*赤木・〔室町初〕写巻子本　一軸　《神道物語集》

(二)慶応・写本　三帖

B (一)(イ)*天理・〔室町末〕絵巻　一軸　《室物一》

(ロ)彰考館・絵巻　一軸　〈室物一解題〉

(ハ)天理・奈良絵本　二冊

(ニ)高安六郎旧・奈良絵本　一冊

(ホ)*京大研・奈良絵本巻末欠（外題「かむ丞相」）　一冊　〈室物一解題〉

(ヘ)東大・奈良絵本下欠　一冊　〈室物一解題〉

(二)(イ)*村口四郎・〔室町末〕絵巻巻首欠　一軸

(ロ)長谷川巳之吉旧・奈良絵本　二冊　《短篇・室物一》

(三)(イ)*村口四郎・〔室町末江戸初間〕絵巻　一軸　《室物一》

(ロ)慶安元年刊絵入本二巻　（東洋）

同右寛政7年後印本　（天理・慶応）〈室物一解題〉

「天神縁起」には北野神社蔵の所謂根本縁起をはじめと

して、鎌倉時代の書写、或はその系統に属する本が多く伝存している。ここではそれらは省略し、御伽草子風に頽れた種類のもののみを挙げた。ただAの系統の本は、内容は鎌倉期の「天神縁起」に等しい。

なお、右の外に鷹巣豊治氏に「菅丞相絵巻」一軸があるが本文未調査。

〔ト〕

道成寺縁起　一名日高川・賢学草子

A内貴清兵衛・〔室町〕絵巻　二軸　〈絵巻解題〉

道成寺・〔室町〕絵巻　二軸　〈日本絵巻物集成二〉

神宮・同右文政3年模写絵巻　二軸

B(一)(イ)酒井忠正・〔室町〕絵巻　一軸　〈絵巻解題〉

国会*・模写絵巻　二軸

内閣・享和2年模写絵巻　一軸

岩瀬・模写絵巻　一軸

〈続類従釈家〉

(ロ)天理*・奈良絵本（題簽「ひたか川」）　一冊

〈天理善本写真集解題〉

(二)根津美術館・〔室町〕絵巻　二軸　〈青山荘清賞八〉

C(一)万治*3年ひしや瀬兵衛刊絵入本三巻　（赤木）

同右無刊記後印本　（東大・東洋）

東大・右の写本　一冊　〈東仏二〉

(二)大和文華館*・絵巻　一軸

道明のさうし——和泉式部

戸隠山絵巻

戸隠神社・絵巻　〈伝説〉

常盤の姫

(イ)慶応・〔室町末〕奈良絵本　一冊

(ロ)慶応・奈良絵本　一冊

(ハ)〈類従雑・新編・東仏〉

鳥歌合

〔寛永〕刊古活字絵入本　（東洋）　〈稀書〉

神宮・同右写本　一冊の内（「虫歌合」と合冊）

〈続類従雑〉

鳥部山物語

萩原宗固蔵写本の安永7年太田南畝写本　一冊　〈児〉

静嘉堂・天保11年写本　一冊

内閣・写本　一冊の内　（「まつほ物かたり」と合冊）

《類従物語》
《大系・国文大観四》

鳥　物　語——→ふくろふ

〔ナ〕

中くほ物語——→あまやどり

なからのさうし

赤木*・〔江戸初〕奈良絵本　一冊

平清盛が津の国なからの河に橋をかけようとすると、一夜の中に流れて果すことを得ず、博士を召して占わすと、小紋の袴に白いまちを入れて着る者を人柱に立てれば成就するというので、高札を立てて件の者を探し出した者には賞を与えんと触れる。ここに柳原の須藤兵衛の妻なる者がこれを見て、夫に小紋の袴に白きまちを入て着せ、清盛の許に参つて我が夫こそお尋ねの者であると訴える。清盛は兵衛を召捕つて牢に入れた所、兵衛は重盛に妻をも共に人柱に立て給えと訴える。尤もとて、妻も召捕つて舌を抜き、二人ながら人柱に立てると、橋は成就し万民これを喜んだ。さて、兵衛の娘たましゆ御前は叔母に養われていたが、叔母は亡くなる時姫を近づけ、母は口をきいたによつて人柱に立てられた故、そなたは一生口をきくなと遺言する。姫は後に津の国の国司に迎えられるが、口をきかぬところから送り帰されることになる。その途次かたのか原にて雉子が鳴いたところから国司に射られたのを見て

ものいはしちゝはなからのはしはしらなかすはきしもいられさらまし

と歌を詠む。姫は再び国司の妻となる事が出来、親の菩提を弔つた。

七草草紙

(一)(イ)〔寛永〕刊絵入横本　(岩瀬有久)　《室物五》
御伽草子本（右の覆刻）
岡村槐軒・奈良絵本　一冊　〈室物五解題〉
京大研・奈良絵本　一冊　〈室物五解題〉
(ロ)蓬左・奈良絵本（「くさ物語」の上巻）　《室物五》
(ハ)中野荘次*・奈良絵本　一冊
(二)穂久邇・奈良絵巻　一軸　《未刊伽一》

〔業平夢物語〕

A永森書店旧・絵巻　一軸　《続岩波》
B慶応・大永6年写本有久（仮題「赤松五郎」）　一冊
Bの慶応本は播磨国の住人赤松五郎という者が、うたた

ねの夢の中で二条后の住む御殿に至り、折柄訪れて来た業平と后との優なる遊びの様を垣間見る。后の姿に魅せられた五郎は業平が帰つて後后に歌を贈る。后も五郎の心根を憐んで一夜物語をした後「我に志あらば卯月八日の頃来り給へ」と仰せあると見て夢は即ち覚めた。その後五郎はかの夢の姿が忘れられず、遂に病の床に臥して祈禱療治の甲斐もなく空しくなる。五郎の妻は尼となつて嵯峨の奥に籠り、夫の菩提を弔つたが、ある夜の夢に五郎が現れ、我は源氏の大将の再来にて戒行つたなきにより賤しき家に生れたが、今そなたの回向によつて兜卒天に生れ変ることを得たと告げる。その後尼は愈々修行を積んで悟道得法したという内容である。

Aは夢の中で業平と二条后に逢つた場所を昔の雲林院の跡としており、一人称で書かれていて主人公の名を記さず、またその妻の出家の話もなくて、市古貞次博士の指摘された如く、謡曲の「雲林院」に近いが、Bはそれに較べると、ずつと物語化されている。

〔三〕

二十四孝

御伽草子本

仁明天皇物語——→青葉の笛の物語

〔ネ〕

猫の草紙

御伽草子本

多和文庫に写本がある由であるが、未調査。

〔鼠の権頭〕一名鼠の草子

(一)天理・〔室町中期〕絵巻巻首欠　一軸　《古典室物三》

(二)*天理・〔室町末江戸初間〕絵巻断簡　一軸　（赤木文庫旧蔵）　〈古典室物三解題〉

(三)東京博物館・〔室町末〕絵巻　一軸　《女子大国文5・6号》

(四)桜井慶二郎・絵巻残欠　一軸

鼠の草子

彰考館・写本　一冊　　《古典室物三》

藤井　隆・土佐光信筆絵巻の模本　一軸　　《未刊伽一》

〔ノ〕

のせざる草紙

御伽草子本

東大・天保9年写本（「みくさ物語」のうち）

〔ハ〕

化物草紙

東京博物館・土佐光茂筆絵巻の天保14年模本　一軸

《新編・新釈・大系・近古小説選・雄山一・近古小説集》

〔箱根権現縁起〕——→伊豆箱根の本地

はしたて——→梵天国

〔橋姫物語〕

東京博物館・絵巻　一軸　　《室物三》〈近小解題〉

国会・住吉如慶筆絵巻の模本　一軸　（尾題「伊多屋かい之物語」）

はしひめ

慶応・奈良絵本　二冊

前書とは全くの別種本。伊豆国中の郡の賀茂太郎ともなりという者が、父の死後所領を土肥二郎に横領されるが、宇治の橋姫を退治した功により、帝に見参して再び所領を安堵せられるという話で、内容詞章共に浄瑠璃風である。恐らく浄瑠璃正本をもとにして奈良絵本に仕立てたのではないかと思われる。「松平大和守日記」の万治四年二月十三日の条に「橋姫」の名が見え、また同じく寛文九年四月十一日の条に「宇治橋姫六段」を語つたという記事がある。横山重氏は、本書はこの浄瑠璃と関係があるのではないかと注意されている。

はしべんけい

天理・奈良絵本　一冊　　《未刊伽二》〈近小解題〉

鉢かづき

(一)(イ)〔寛*永〕本屋弥右衛門刊古活字絵入本　（天理補写一丁）

41丁10行、各行約20字、字面高さ約20・5糎、板心「はち」刊記「本屋弥右衛門」。本文は次の万治2年高橋板と殆んど同じ。挿絵の構図も類似している。高橋板は本書に基いたか。

万治2年高橋清兵衛刊絵入本二巻　（赤木・国会）　《室物三》

同右元禄11年吉野屋権兵衛後印本　（東大）　〈室物三解題〉

*宝永2年和泉屋茂兵衛刊絵入本二巻　（刈谷・京大・天理・竜門）

御伽草子本

広島大研・写本（奈良絵抜）　三冊　〈室物三解題〉

大阪府立図書館・〔寛永〕写本　二冊　〈室物三解題〉

国会・奈良絵巻　一軸　（「三草紙絵巻」のうち）

国会・天保9年写本　一冊

天理・写本（奈良絵抜）　二冊

無窮会・写本　一冊

*中野荘次・奈良絵本　三冊

(ロ)*万治2年松会刊絵入本二巻　（教育大）　〈室物三解題〉

〔*寛文〕松会刊絵入本の後印本二巻　（京大・東大・内閣）　〈室物三解題〉

*寛文6年山本九左衛門刊絵入本二巻　（内閣・天理・京大研）　〈室物三解題〉

同右寛文6年後印本二巻　（教育大）　〈室物三解題〉

延宝4年刊絵入本二巻　（岩瀬・早大・日比谷上欠）

同右万屋庄兵衛後印本　（日比谷）

宝永7年井筒屋三右衛門刊絵入本二巻　（大東急・東洋有欠）　〈室物三解題〉

岩瀬・奈良絵本　三帖　〈室物三解題〉

静嘉堂・弘化5年写本　一冊　《室物三》

(ニ)御巫清男旧・写本（奈良絵抜）　二冊　《室物三》

(ニ)清水　泰・奈良絵本　二冊

八幡の本地（八幡宮御縁起）一名神功皇后御縁起

A (イ)誉田神社・永享5年足利義教奉納絵巻　（「神功皇后御縁起」）　二軸　〈国華247・室物一解題〉

石清水八幡宮旧・同右絵巻　二軸

宇佐神宮・同右絵巻　二軸

誉田神社・同右絵巻の寛永18年模写絵巻

手向山八幡宮・天文4年祐全法師奉納三条西実隆奥書絵巻

筥崎宮・寛文12年絵巻

天理・〔江戸初〕写本　一冊

*神宮・写本有欠　一冊の内　《室物一》

天理・〔室町中期〕写本　一冊

(ロ)楠林安三郎旧・〔江戸初〕絵巻　二軸　〈室物一解題〉

(ハ)天理・〔江戸初〕奈良絵本　二帖　《室物一》
(ニ)天理・〔江戸初〕奈良絵本　二帖　《室物一》

B (一)赤木旧・応永9年絵巻（仮題「衣奈八幡宮縁起」）　《神道物語集》
(二)(イ)享禄4年絵巻　天理*・同右奥書絵巻　二軸　《神道物語集》
(ロ)山岸徳平・絵巻　二軸　〈神道物語集解題〉
赤木旧・絵巻　二軸　〈神道物語集解題〉
岩瀬*・明和9年写本　一冊
(ハ)武田祐吉旧・天文7年絵巻下欠　一軸　〈神道物語集解題〉
(ニ)承応2年山本長兵衛刊絵入本三巻　（東大研・名古屋市立図書館旧・大谷大）

初瀬物語

静嘉堂・写本　一冊の内
神宮*・写本　一冊
慶応・写本　一冊の内
《続類従物語》

花子ものぐるひ　一名はん女物語

〔寛文*〕刊絵入本三巻　（国会・大東急）
国会*・写本（題簽「はん女もの語」）　一冊　〈近小解題〉

花つくし→胡蝶物語

花のえん→姫百合

花の縁物語

寛文*6年跋刊絵入本（国会・内閣・天理）　〈近小解題〉

花みつ月みつ

(一)京大研・写本　二冊　《有朋・大系・新釈》
(二)静嘉堂・写本　一冊
(三)静嘉堂・写本　一冊の内

花世の姫

〔明暦〕刊絵入本三巻　（赤木・天理・東北大・東洋）　《岩波・室物三》
鹿田静七旧・奈良絵本三巻　二帖　〈室物三解題〉
高野辰之旧・写本（奈良絵抜）　〈室物三解題〉

はにふの物語（大納言物語）

(一)刈谷*・明応6年奥書本の転写本　一冊　《未刊三》
尊経閣・同右奥書本の延宝7年写本　一冊　〈中小解題〉

(二)国会・叢書料本第廿八所収写本　〈中小解題〉
実践女子大・写本　一冊の内　〈中世文学二解題〉
書陵部・文化10年写本　一冊
(二)は(一)の艶書のみを抄録したもので、「大納言物語」と題す。

浜出草紙

御伽草子本

蛤の草紙

(一)慶応・大永6年写本（内題「秀祐之物語」）　一冊
刊本系の諸本より叙述がずつと簡略になつている外、主人公の名や筋の上にも小異がある。
(二)(イ)〔寛永〕刊古活字絵入本　（慶応有欠）
21丁10行、挿絵4頁、字面高さ約21・5糎。本文は(ロ)の御伽草子本に較べ、大筋は同じであるが、字句の上の異同は相当に多い。
天理・奈良絵本　二冊
(ロ)御伽草子本
(三)明暦2年林長右衛門刊絵入本二巻　〈近小解題〉
〔寛文*〕刊絵入本二巻　（国会・神宮）
上10丁下8丁13行、挿絵上6頁下5頁、単辺（21・5×16・5糎）内題「はまくりはたをりひめ」板心「はまくり」。本文は(二)とは全く別系。筋にも小異がある。

はもち中将

A鱗形屋刊絵入本二巻　（東北大）　〈新纂〉
B(一)京*大研・写本（奈良絵抜、題簽「はもち中納言」）　三冊　〈新纂解題〉
(二)清*水　泰・奈良絵本　三冊
清水本の筋立は京大本とほぼ同じ。詞章はAの刊本の方にむしろ近い。

番神絵巻

天理・天文17年絵巻　一軸　〈室物五〉

はん女物語——→花子ものぐるひ

はんれい

天理*・絵巻残巻　一軸
范蠡が越王を援けて呉王夫差に復讐する話。前半を欠く。

〔ヒ〕

火おけのさうし

(イ)〔寛*永〕刊絵入本　(国会・天理・赤木・京大後半欠)　《未刊三》

米*沢図書館・奈良絵本下欠　一冊

(ロ)寛文6年松会刊絵入本二巻　(東大)　〈近小解題・中小解題〉

(未調査)

高野辰之旧・奈良絵本　二冊　〈中小解題〉

有馬秀雄・奈良絵本　二冊　〈中小解題〉

〔ひきう殿物語〕→小男の草子

彦火々出見尊絵詞　一名玉井の物語

(一)書陵部・模写絵巻　六軸　《室物五》

京都曼華院・模写絵巻　四軸　〈室物五解題〉

若狭明通寺・〔江戸初〕模写絵巻　六軸　〈室物五解題〉

田中有美・慶安3年奥書模写絵巻　四軸　《大正14石版刷》

下*店静市・延宝5年模写絵巻残欠　一軸

(二)岩瀬・〔江戸初〕絵巻(仮題「かみよ物語」)　一軸　《室物五》

慶応・絵巻(仮題「玉井乃物語」)　一軸　《神道物語集》

赤木・絵巻(題簽「王井乃物語」)　一軸　〈神道物語集解題〉

毘沙門の本地

(一)(イ)反町茂雄旧・〔江戸初〕奈良絵本　三帖　《室物二》

《新編・岩波・大系・新釈・雄山二》

(ロ)末松謙澄旧・奈良絵本　《東洋学芸雑誌81 82 84 86 87号》

(ハ)慶応・奈良絵本　三冊

(二)慶応・写本　一冊　〈室物二解題〉

(一)よりも全体に叙述がくわしいが、歌はすべて省略されている。

(三)名古屋市立図書館・写本　三冊　《室物二》

(四)承応3年林長衛門刊絵入本三巻　(東大)

美人くらべ

(イ)万治2年石津八郎右衛門刊絵入本二巻　(京大・赤木・天理下欠・日比谷有欠)《有朋・室物三・大系・新釈・雄山一》

(ロ)松会刊絵入本二巻　(赤木旧)　〈室物三解題〉

日高川→道成寺縁起

筆結の物語

尊経閣・永正14年写本　一冊　〈中小解題〉

秀衡入

天理・写本（奈良絵抜）　一冊　　〈有朋〉

一本菊　一名白ぎくさうし

㈠京大・写本（扉題「白ぎくさうし」）　一冊　　〈室物三〉

㈡㈠慶応・〔室町末江戸初間〕写本　一冊

㈤天理*・写本　一冊

㈥野村八良・奈良絵本　三冊　　〈室町時代小説論解題〉

㈢野村八良・奈良絵本中欠　二冊　〈　〃　〉

㈣岩瀬・奈良絵本　三冊　　〈室物三解題〉

㈡の諸本は全体としては㈠よりも㈢の刊本系に近いが、叙述は刊本よりややくわしく、筋立は却つてやや簡略になつている。歌も三首乃至四首少い。

㈢㈠万治3年西田勝兵衛尉刊絵入本三巻　（野村八良）　〈室物三〉

同右万治3年野田庄右衛門後印本（国会・実践女子大）　〈近世文芸叢書〉〈室物三解題〉

㈤寛文11年松会刊絵入本三巻　（天理）　〈室物三解題〉

同右松会後印本　（彰考館）　〈　〃　〉

同右西村後印本　（大東急・内閣・国会・京大）　〈室物三解題〉

㈥刈谷*・写本　一冊　〈　〃　〉

㈡中島仁之助旧・奈良絵本　一冊　〈　〃　〉

刊本系にはこの外、「古活字版之研究」に〔寛永〕刊古活字本二巻（国分高胤旧下欠）が紹介されているが未見。

姫百合　一名花のえん

㈠㈠慶応・〔江戸初〕写本　一冊

㈤逢左*・〔江戸初〕写本　一冊（扉題「ちくさ」）

㈡〔寛文〕松会刊絵入本二巻　（彰考館）　〈短篇〉

同右松会改題後印本（内題「花のえん」）　（国会）　〈短篇解題〉

兵部卿物語

〈続々類従歌文部〉

慶応・写本　一冊

実践女子大・写本　一冊　　〈中世文学二解題〉

平野よみかへりの草紙

長宝寺・永正10年奥書写巻子本　〈平野郷町誌〉　〈中小解題〉

天理・永正10年永禄4年奥書写本　一冊　〈室物二〉　〈中小解題〉

〔フ〕

福富草紙

A 春浦院・〔室町後期〕絵巻　二軸　≪芸艸堂複製・室物五≫
赤木・絵巻　二軸　〈室物五解題〉
書陵部・寛政10年奥書模写絵巻　一冊　〈室物五解題〉
静嘉堂・池底叢書本の明治29年転写本　一冊〈室物五解題〉
静嘉堂・模写絵巻　一軸　〈室物五解題〉
静嘉堂・天保6年奥書模写絵巻上巻　一軸　〈室物五解題〉
国会・寛政元年奥書本の文政元年模写絵巻上巻　一軸　〈室物五解題〉
三条西公正・絵巻下巻　〈国語と国文学11巻11号〉
池田亀鑑旧・絵巻　〃　〃
益田家旧・絵巻下巻　〃　〃
根津美術館・絵巻下巻　〃　〃
B (イ)大東急・寛延3年奥書絵巻　一軸　≪室物五≫
(ロ)大東急・絵巻　一軸　〈室物五解題〉
(ハ)大阪市立美術館・文政9年模写絵巻　一軸〈室物五解題〉
(ニ)≪新編・岩波・大系・名著・新釈・伝説・雄山一・御伽草子名作選≫
(ホ)松尾　聡・絵巻　〈国語と国文学11巻11号〉

ふくろふ

(一)(イ)〔寛永〕刊絵入本　(京大)　≪有朋≫
(ロ)刈谷*・「蓬蘆雑鈔七三」所収明治14年写本　一冊の内
(内題「鳥物語」)
(二)静嘉堂・慶安元年絵入写本(題簽「うそひめ物かたり」)一冊
(一)と比較すると後半の筋が著しく相違する。うそ姫は鷲の追手をのがれて行方をくらまし、ふくろうもその跡を尋ねて旅に出る。(ここに道行文あり)ようやく尋ね当てた時には、うそ姫は旅の疲れで死んでいたので、ふくろうも自害しようとするが、とどめられて出家する。

武家繁昌

(イ)赤木・奈良絵本　二冊　≪室物五≫
笹野　堅旧・奈良絵本　二帖　≪短篇≫
大東急・写本(奈良絵抜)　二帖　〈室物五解題〉
大東急・絵巻　二軸　〈室物五解題〉
アルデマーニ旧・奈良絵本　二帖　〈室物五解題〉
赤木旧・絵巻　二軸　〈室物五解題〉
(ロ)赤木旧・絵巻　二軸　〈室物五解題〉

富士山の本地

(一)延宝8年駿河屋徳兵衛刊絵入本二巻(赤木・教育大)≪室物二≫
同右無刊記後印本　(天理)
(二)正徳3年刊本(「富士山縁起」)　〈室物二解題〉

富士の人穴草子

(一)赤木旧・慶長8年写本　一冊　《横室小》
(二)天理・慶長12年写本　一冊　《室物二》
(三)天理*・〔江戸初〕写本（外題「仁田四郎」）　一冊
(四)岩瀬*・写本　一冊
(五)国会*・弘化4年奥書写本　一冊
(六)中野*荘次・写本　一冊
(七)(イ)寛永4年刊絵入本　（赤木）
《室小・大系・新釈》〈室物二解題〉
同右無刊記後印本（東洋後半欠・一誠堂旧残欠・中島仁之助残欠）
〈室物二解題〉
寛永9年中野道也刊絵入本　（彰考館有欠・東北大有欠）
《室物二》
同右無刊記後印本　（東大）　〈室物二解題〉
(ロ)慶安3年近江屋弥兵衛刊絵入本三巻　（杉本梁江）
〈〃〉
同右無刊記本　（国会）　〈〃〉
明暦4年山田市良兵衛刊絵入本三巻　（京大）
〈〃〉
〔万治〕松会刊絵入本三巻　（書陵部）　〈〃〉
万治4年高橋清兵衛刊絵入本二巻　（東大研・岩瀬・天理・国会）　〈室物二解題〉
(ハ)京大研*・〔江戸初〕絵巻（題簽「富士草紙」）　一軸
〈室物二解題〉

(一)から(六)までの各写本は、本文の大筋に於ては似通っているが語句の出入異同が夫々に非常に多く、系統的に分類することが困難である。

藤袋の草子

(イ)麻*生太賀吉・〔江戸初〕絵巻　一軸　《古典室物三》
国会・慶安2年住吉如慶模写絵巻　〈古典室物三解題〉
(ロ)島津久基旧・写巻子本　一軸　《岩波》

ふせやの物語

(一)尊経閣・明応8年写本　一帖　《室物三》
島津久基旧・写本　一冊　《新纂》
(二)清水　泰・奈良絵本　二冊　《室物三》
(三)多和・写本　一冊　《神道物語集》
(四)慶応・〔室町末〕写本　一冊〈慶応解題・神道物語集解題〉

仏鬼軍

京都十念寺・〔室町〕絵巻有欠　一軸
〈国華119・日本国宝全集65解題〉
元禄10年刊絵入本　（国会）
同右天保5年蓍屋宗八後印本　《東仏》

文政6年跋刊絵入本　（静嘉堂）

舟のゐとく

天理*・絵巻　二軸

もろこしの三皇の末の帝、けんえん皇帝がはじめて舟を造り出し、貨狄、楊基の二臣をして、それによつて逆臣しゆうを滅さしめた話をはじめとして、異朝本朝における舟の威徳を彰した話を綴つたもの。

ふ老ふし

大阪市立美術館・絵巻　二軸　《室物五》

高安六郎旧・奈良絵本上欠　一帖　〈室物五解題〉

文正草子

(一)(イ)赤木*・〔室町末〕写本　一冊

(ロ)教育大*・寛永8年絵巻　二軸

(二)(イ)赤木*・〔江戸初〕奈良絵本　二冊

実践女子大*・〔江戸初〕写本（題簽「ひたち花かた」）一冊

(ロ)国会*・奈良絵巻　二軸（「三草子絵巻」の内）

(三)(イ)赤木*・〔江戸初〕奈良絵本　二冊

(ロ)国会*・慶安元年写本　一冊　〈室物五解題〉

(四)赤木旧・写本　二冊　〈室物五解題〉

(五)京大・〔江戸初〕奈良絵本　三冊　《室物五》

(六)赤木*・〔江戸初〕奈良絵本　三冊　〈室物五解題〉

(七)戸川浜男・奈良絵本　三冊　〈〃〉

(八)(イ)大東急・絵巻　三軸　《室物五》

(ロ)〔寛永〕刊絵入本（赤木・東洋・神宮・東大・静嘉堂・天理）

寛文4年長尾平兵衛刊絵入本二巻（赤木・東大・日比谷・蓬左）　〈室物五解題〉

元禄7年浅見吉兵衛刊絵入本二巻（赤木）　〈室物五解題〉

〔元禄〕水田甚左衛門刊絵入本二巻（赤木・天理・京大有欠・名古屋市立図書館）　〈室物五解題〉

〔享保〕袋屋十良兵衛刊絵入本二巻（慶応）　〈室物五解題〉

同右無刊記後印本　〈〃〉

赤木旧・「文鳳堂雑纂」所収写本　一冊　〈〃〉

岩瀬・絵巻　二軸　〈〃〉

戸川浜男・奈良絵本　三帖　〈〃〉

戸川浜男・土佐絵本　三帖　〈〃〉

天理・奈良絵本　三帖　〈〃〉

高安六郎旧・奈良絵本　三帖　〈〃〉

東大・奈良絵本　上中下合一帖　〈〃〉

アルデマーニ旧・奈良絵本　三冊　〈〃〉

陰山金四郎・奈良絵本　三冊　〈〃〉

東大研・奈良絵本　三冊　〈〃〉

*教育大・写本　一冊
米沢図書館・奈良絵本　三冊
竜谷大・奈良絵本下欠　二冊
実践女子大・奈良絵本中欠　二冊
(ハ)寛文11年松会刊絵入本二巻　（静嘉堂）　〈室物五解題〉
同右松会後印本（岩瀬・名古屋市立図書館）
〈　〃　〉
〔元禄〕山本九左衛門刊絵入本二巻　（天理・野村八良・戸川浜男）
〈室物五解題〉
〔宝永正徳〕吉田屋喜左衛門刊絵入本二巻　（大東急）
〈室物五解題〉
正徳3年西村屋刊絵入本二巻（天理・岩瀬）
〈　〃　〉
(ニ)明暦4年刊絵入本二巻　（国会・野村八良）
〈　〃　〉
同右風月庄左衛門覆刻本　（赤木・早大・教育大・岩瀬・日比谷）
(ホ)赤木・奈良絵本　三冊　〈室物五解題〉
(ヘ)岡田　真旧・写本　二冊　〈　〃　〉
(ト)東大・写本　一冊　〈　〃　〉
(チ)書陵部・絵巻　三軸　〈図書寮典籍解題〉
(リ)(イ)〔寛永〕刊絵入横本　（日本民芸館・陰山金四郎・岩瀬中欠）　〈室物五〉
御伽草子本（右の覆刻）
広島大・奈良絵本　三冊　〈室物五解題〉
(ロ)東大・写本（仮題「中むかし物語」）　一冊〈　〃　〉
(ハ)*天理・写本下欠（奈良絵抜、題簽「弾正物語」）　一冊
（未調査）
大倉集古館・寛永3年絵巻　三軸　〈国華652～654解題〉

〔ヘ〕

平家公達草紙
佐藤千寿・〔鎌倉〕白描絵巻　一軸〈国華665666・絵巻解題〉
*東京博物館・天保3年模写絵巻　一軸　〈近小解題〉
小川寿一・天保14年奥書写本　〈歴史と国文学昭9の8〉

平家花航
*貞享3年刊絵入本　（赤木・名古屋市立図書館）
慶応・写本　一冊　〈中世国文学研究解題〉
神宮・写本　一冊　〈中世国文学研究解題〉
史料編纂所・写本　一冊　〈　〃　〉
墨海山筆所収天保14年奥書本の嘉永5年写本　〈中世国文学研究解題〉
彰考館・写本（「平家物語系図」）　〈　〃　〉

弁慶物語

A
(イ)〔慶長元和〕刊古活字本二巻　（高安六郎旧・竜門上欠）　〈横室小解題〉
*天理・写本（奈良絵抜）　三帖
(ロ)慶安4年刊絵入本二巻　（国会）　《室小・横室小》
同右無刊記後印本　（京大研・東大・東北大・早大下欠）　〈横室小解題〉
貞享2年河内屋理兵衛刊絵入本二巻　（国会・彰考館）　〈横室小解題〉
京大・〔江戸初〕奈良絵本巻首欠　一冊
(ハ)*国会・元和7年写本　一冊
(ニ)*岩瀬・写本　二冊
B
穂久邇・〔室町中期〕絵巻　一軸　《未刊伽二》

弁の草紙

輪王寺図書館・元禄8年写本　一冊　〈国語と国文学昭27の8〉
内閣・同右奥書写本　一冊　《室小・横室小・岩波・大系・雄山一・新釈》

〔ホ〕

判官みやこはなし　一名鬼一法眼

(イ)*寛文10年林市三郎刊絵入本五巻　（国会・赤木・天理）　《新纂》
同右秋田屋市兵衛後印本（内題「判官みやこ物語」）（国会）　〈近小解題〉
(ロ)天理・写本　三冊　〈新纂解題〉
(ハ)高野辰之旧・写本（奈良絵抜）
(ニ)慶応・〔江戸初〕奈良絵本零本　一冊（三冊本の上巻一冊と思われる）

〔宝月童子〕→およふのあま

法蔵比丘→阿弥陀の本地

宝満長者

(一)寛文5年中村五兵衛刊絵入本　（国会・竜門）　《室物四》
同右元禄15年中村五兵衛後印本（赤木旧）　〈室物四解題〉
元禄15年刊本　（赤木旧）　〈室物四解題〉
*同右無刊記本　（京大研・教育大）
同右無刊記本（「十王讃嘆抄」の第五冊）（京大）　〈室物四解題〉
(二)(イ)*天理・〔江戸初〕写本（奈良絵抜）　二冊
(ロ)*天理・写本下欠（奈良絵抜）　一冊

法妙童子

㈠㈠寛文8年長尾七郎兵衛刊絵入本二巻　（大阪府立図書館）
　　《室物四》
㈡寛文10年守兵衛刊絵入本三巻（ママ）　（大東急）　〈室物四解題〉
　同右無刊記本　（東大）　〈　〃　〉
　正徳3年西村屋伝兵衛刊絵入本二巻　（東大・大東急・国会）　〈室物四解題〉
㈢〔寛文〕松会刊絵入本三巻（赤木・国会）　〈室物四解題〉
㈡㈠天理*・写本（題簽「伊気にえ物語」）　一冊　〈室物四解題〉
㈡岩瀬・奈良絵本下欠　二冊　〈室物四解題〉
　この外刊本として「近古小説解題」に、万治頃刊本と寛文8年足立三郎兵衛刊本を、又朝倉無声氏の「新修日本小説年表」に、寛文6年松会刊本、鱗形屋刊本の二種をあげているが、何れも所在不明である。

蓬莱物語　一名蓬莱山由来

㈠㈠京大美学研・奈良絵本　二帖　《新纂・室物五》
㈡矢野利雄・絵巻　二軸　〈室物五解題〉
　赤木・絵巻上巻　一軸　〈室物五解題〉
㈢寛文4年度々市兵衛刊絵入本二巻　（天理）　《室物五》
　天理・写本　一冊
　実践女子大・奈良絵本　二冊
　青山容三・奈良絵本　二帖　《室物四》
　三浦家・絵巻　二軸　〈室物四解題〉
　雄禅書屋旧・奈良絵本　二冊　〈　〃　〉

布袋の栄花

堀江物語

㈠実践女子大・元和4年弘化2年奥書本の明治37年写本　一冊　〈中世文学二解題〉
　慶応・同右奥書本の大正元年写本　一冊
㈡寛文*7年野田弥兵衛刊絵入本三巻　（国会・内閣）
　岡見正雄・寛政7年絵入写本　一冊
　（未調査）
　村山竜平、古森梅太郎・伝岩佐又兵衛筆絵巻　三軸　〈国華269解題〉

〔堀川中納言の姫君〕　→しが物語

暮露々々のさうし

㈠〔正保*〕刊本　（天理）
　43丁10行、字面高さ約20糎、内題なし、柱刻「空花」本文は㈡と字句の末に小異あり。
㈡国会・今古残葉所収写本　《東仏》

梵天国

㈠天理・写巻子本　二軸　《室物二》

㈡㈠笹野　堅旧・奈良絵本　三冊　《室物二》

㈡教育大*・写本（奈良絵抜、題簽「はしたて」）　二冊　〈室物二解題〉

㈢〔寛永〕刊古活字本　（慶応有欠）

27丁11行、字面高さ約22糎、挿絵なし、内題「ほんてん」柱刻刊記なし。本文の大筋は㈡に近いが、部分的には㈣と詞章の一致する箇所が多くある。

㈣〔慶安承応〕刊絵入本三巻　（赤木旧中下欠）　〈室物二解題〉

御伽草子本

国会・写本　一冊

〔マ〕

松ケ枝姫物語

天理*・絵巻　一軸

播磨の国高砂の浦尾上の里の松ケ枝姫に津の国住吉の松高彦が契りをこめ、後二人共に飛仙となつて天に昇る。二人の植え残した二本の松は末永く栄えて相生の松と呼ばれたという祝儀物。

松風村雨

㈠㈠万治2年尾崎七良右衛門刊絵入本三巻　（赤木）　《室物五》

同右野田弥兵衛後印本　〈室物五解題〉

天理*・写本（外題「行ひら須磨物かたり」）　一冊

天理・天明7年写本　一冊

㈡〔万治寛文〕松会刊絵入本二巻　（天理・岩瀬）　〈室物五解題〉

〔延宝天和〕刊絵入本二巻　（東大・東洋）　〈室物五解題〉

松竹物語

㈠大東急・奈良絵本（「笠間長者鶴亀物語」の下巻）　《室物五》

㈡国会・絵巻（「鶴亀松竹物語」の下巻）　《室物五》

赤木旧・絵巻　一軸　〈室物五解題〉

㈢㈠高安六郎旧・奈良絵本（「鶴亀松竹」の下巻）　《室物五》

㈡高安六郎旧・奈良絵本（「つるかめまつたけ」の下巻）　《室物五》

㈥蓬左・奈良絵本（「くさ物語」の下巻）　《室物五》

松姫物語→車僧

松帆浦物語

〔正保*〕刊本　（無窮会・赤木有欠）

17丁半10行、挿絵なし、字面高さ約20糎。無窮会本には後表紙見返しに「洛陽四条坊門／敦賀屋久兵衛」とある

内閣・写本　二冊の内　（「鳥部山物語」と合冊）　〈中世文学二解題〉

実践女子大・写本　一冊　〈　〃　〉

実践女子大・写本　一冊

萩原宗固蔵本の安永7年太田南畝写本　《児》

《類従物語・大系》

《畠山健古文ものがたり》

《国文大観》

窓の教

内閣*・絵入写本（題簽「窓の友」）　一冊

《日本文学三》〈中小解題〉

魔仏一如絵詞

宮本長則・〔室町〕絵巻　一軸　《美術研究123》

「羅月庵国書漫抄」所収本　《東仏二》

まんじゆのまへ

寛文13年鱗形屋刊絵入本三巻　（東北大）　《新纂》

〔ミ〕

みしま

天理・奈良絵本　二冊　《室物一》

御巫清男旧・写本（奈良絵抜）　〈室物一解題〉

みなつる

(イ)清水　泰旧・奈良絵本　二冊　《幸若舞曲集》

(ロ)高安六郎旧・奈良絵本　二冊　《横室小》

源蔵人物語→浅間御本地御由来記

〔ム〕

虫歌合

(イ)〔寛永〕刊古活字絵入本（「四しやうのうた合」の内）（東洋）　《稀書》

神宮*・同右写本　一冊の内　（「鳥歌合」と合冊）

《続類従雑》

(ロ)〔寛文〕風月宗智刊本　（静嘉堂）

14丁10行、挿絵なし、字面高さ約20糎。

同*右無刊記本　（神宮）

中野荘次*・写本　一冊

早大・絵巻（内題「十五はん歌合」）　一軸

(ハ)国会・元禄13年写本　一冊

(ハ)国会*・写本　一冊
(ニ)内閣・写本　一冊
(ホ)内閣・写本　一冊
(ヘ)静嘉堂・天保7年大田秀真写本（外題「十五番虫合」）　一冊
(ト)静嘉堂・写本（内題「虫草子」）　一冊　（序文のみ）

虫妹背物語

天理*・絵巻　一軸
慶応・〔江戸初〕絵巻巻首欠　一軸
蟬の右衛門督が諸虫の慕う玉虫姫を妻に迎え、ために、蟋蟀と蜩は出家し螢は空しくなるという物語。

無明法性合戦状

大永7年釈順西写本　一冊　《京畿社寺考》

紫式部の巻

明暦4年藤井五兵衛刊絵入本　（内閣・京大）　《有朋・御伽草子名作選》

むらまつの物かたり

(一)国会・〔江戸初〕写本　一冊　《古典室物一》〈中小解題〉
(二)東洋・奈良絵本　〈古典室物一解題・中小解題〉

〔メ〕

〔乳母の草紙〕

東大・写本　一冊　《未刊二》

〔モ〕

もくれんのさうし

天理・享禄4年写本　一冊　《室物二》〈中小解題〉

餅酒歌合

書陵部・応永26年今川範政奥書写本　一冊　〈中世小説の研究解題〉

物くさ太郎　一名おたかの本地

(イ)〔寛永〕刊絵入本　（東洋）　〈室物五解題〉
同右後印本　（東大・教育大）　《室物五》
寛文5年松会刊絵入本二巻　（赤木・大東急・国会・教育大）　《稀書》〈室物五解題〉
〔元禄宝永〕鱗形屋刊絵入本
西村伝兵衛刊絵入本二巻　（国会）　〈室物五解題〉
大東急・奈良絵本（題簽「おたかのほんち」）　二冊

岡村槐軒・奈良絵本（題簽「おたかの本地」）二冊　〈室物五解題〉

岩瀬・奈良絵本（題簽「多賀の本地」）　〃　〃

高安六郎旧・奈良絵本（題簽「おたか」）二冊　〃　〃

国会・奈良絵本　二冊　〃　〃

国会・寛延2年写本　一冊　〃　〃

(ロ)御伽草子本

東大・天保9年写本（「みくさ物語」の内）

紅葉合→玉水物語

もろかど物語

A (一)国会・写本　一冊　〈未刊四〉

(二)彰考館・寛永6年奥書写本　二冊　〈中小解題・未刊四解題〉

B 天理*・寛政13年写本　一冊

外題「越後国五地如来本地」内題尾題「五地五如来御本地」奥書「寛政十三年／酉ノ二月中旬／白竜山恵照」。内容はAとほぼ同じであるが、筋には種々相違があり、文章は御国浄瑠璃風。終りに主人公の諸門一族が越後国の五地の如来と顕れたとある。

〔ヤ〕

弥兵衛鼠

天理・奈良絵本　一冊　〈続岩波〉

赤木・奈良絵本　一冊

〔ユ〕

雪女物語

万治3年石津八郎右衛門刊本二巻　〈近小解題〉

寛文5年松会刊絵入本二巻（東大）　〈未刊一〉

行平須磨物かたり→松風村雨

ゆや物がたり

〔寛文〕*松会刊絵入本二巻（大東急・東洋有欠）　〈中小解題〉

〔ヨ〕

揚貴妃物語

*寛文3年本屋太兵衛刊絵入本（国会・竜門）　〈近小解題〉

〔養老の縁起〕

穂久邇文庫・絵巻首尾欠　一軸　《未刊伽三》

横座房物語

神宮・写本　一冊　〈中小解題〉

*内閣・写本　一冊　〈　〃　〉

*天理・写本　一冊

横笛滝口の草紙

(一)*京都清涼寺・〔室町後期〕絵巻　二軸

巻頭に横笛がみぞろが池の大蛇の子であるという出生譚がある。本文も(二)(三)とは全く異なる。

(二)慶応・〔室町後期〕写本　一冊

(三)(イ)*明暦4年山田市良兵衛刊絵入本　（国会）

御伽草子本

天理・奈良絵本　一冊

国会・写本（奈良絵抜）　二冊

(ロ)*神宮・写本　一冊

(四)*中野荘次・写本　一帖の内（「含状」と合冊）

巻末に横笛の死後三年の後、滝口が桂川のほとりに行き横笛のために回向をしていると、横笛の亡霊が現れて物語をする事が添えられている。文章も全く異なる。

川瀬一馬氏「日本書誌学之研究」に、〔元和〕刊古活字本（三井文庫）が紹介されているが未見。

よしのぶ

《国文学攷一・二巻》

頼朝の最後

市古貞次・写本　一冊　《未刊二》

尊経閣・写本　一冊　〈中小解題〉

国会・不忍叢書所収写本上欠　〈近小解題・中小解題〉

伴信友旧・文政3年興田吉従写本上欠　《国史叢書》〈中小解題〉

〔ラ〕

羅生門

東洋大・絵巻　二軸　《続岩波》

静嘉堂・奈良絵本　二冊　〈中小解題〉

*京都博物館・絵巻　二軸

清水　泰・絵巻　二軸

天理・写巻子本　二軸

〔リ〕

李娃物語

内閣・写本　一冊　《室小・横室小》

〔ル〕

るし長者物語

吉田幸一・奈良絵本　一冊　〈文学昭10の3解題〉

〔ロ〕

六代御前物語

(一)児島松之助・延慶2年奥書写本
史料編纂所・同右謄写本　一冊　〈近小解題・中小解題〉
(二)慶応・奈良絵本　三冊

〔六波羅地蔵物語〕

慶応・絵巻　二軸

貧女が六波羅密寺の地蔵菩薩の利益によつて富貴の身となる話。「宝物集」巻三等に見える鬘懸地蔵の説話に基づいている。

〔ワ〕

若草物語

A慶応・写本（奈良絵抜）　三冊

Bの系統と比較すると、登場人物の名が異なる外、(1)若草の子は若君であつてこの若君が後に位につく。(2)若草は入水するが観音の功力で蘇生し後栄える等、筋の上にも相違がある。

B(一)天理*・〔江戸初〕奈良絵本　三冊
(二)(イ)〔寛文延宝〕*刊絵入本三巻　（赤木・国会・京大研）
寛文7年鱗形屋刊絵入本三巻　（彰考館旧）
同右天和3年鱗形屋覆刻本*　（赤木・教育大・京大研・大東急・国会・内閣中欠）
同右後印本　（東洋）（鱗形屋の書肆名のみを削る）
元禄6年刊絵入本三巻*　（岩瀬）
享保6年刊絵入本二巻　（国会・東大）
静嘉堂・写本　一冊
静嘉堂・写本　一冊
東北大*・写本　一冊
(ロ)《新編》
(ハ)実践女子大・写本　一冊
巻末がやや省略されている。

若みどり

東洋大・写巻子本　一軸

《続岩波》

〔追加〕

執金剛神縁起

東大寺・〔室町〕絵巻　三軸

天理*・奈良絵巻　三軸

書陵部・天保9年絵巻　一軸

〈絵巻解題〉

雀さうし

早大・〔江戸初〕写本　一冊

「勧学院物語」や「雀の発心」とは内容の異なる別種の作品。雀の娘あいちよ御前に諸鳥が求婚するが、親雀に断られる。最後に蝙蝠が結婚を許されるが、婚礼の宴席で膾にむせて転げ廻るのを見て愛想をつかされる。あいちよは尼になり、諸国を修行するうち、鷹の餌食になつたという物語。